

古今

後藏物

万寶入書

十三

目録九ヶ条あり
 後藏之系是並居之
 次方同利之りヲ載ス
 法蘭西^{フランス} 荷蘭^{オランダ} 普魯士^{プロシヤ}
 振興^{キョウキョウ} 綏^{スイ} 甲^カ 泥^ニ 漫^{マン}

全





後醍醐家彫物



目録彩金銀



十三卷

彫物^{ホリモノ}目録^{メキ}彩金^{サイキン}銀^{ギン}

一 見易^{ケニツ}并^ツ家^{イエ}之^ノ系^{ケイ}目^メ録^{ロク}

二 彫物^{ホリモノ}代^{ダイ}付^{ツケ}目録^{メク}之^ノ目録^{ロク}

三 同^{ドウ}後^ゴ教^{トウ}役^{ダク}之^ノ見^ミ分^{ワケ}指^{サシ}之^ノ目録^{メク}

四 同^{ドウ}善^{ゼン}悪^{アク}見^ミ分^{ワケ}指^{サシ}之^ノ目録^{メク}

五 同^{ドウ}古^コ記^キ物^{モノ}之^ノ分^{ワケ}指^{サシ}之^ノ目録^{メク}

六 級^{ケイ}表^{ヒラキ}之^ノ目録^{メク}

同^{ドウ}人^{ニヒト}形^{カタ}物^{モノ}之^ノ数^{カズ}之^ノ目録^{メク}

同^{ドウ}獸^{ケモノ}物^{モノ}之^ノ数^{カズ}之^ノ目録^{メク}

同^{ドウ}多^{オホク}形^{カタ}之^ノ目録^{メク}

同^{ドウ}茶^{チャ}花^{ハナ}之^ノ数^{カズ}之^ノ目録^{メク}

後醍醐家彫物目録



同竹本歌
同魚歌
同貝歌
同虫歌
右ノ歌品有之

七 徳國鐸之他志
并押歌

八 插鞘紋之

九 甲派漫之

後家取物新金抄

祐宗素光徳宗

一 見易十一品之内第一

若松漆箱

漆箱

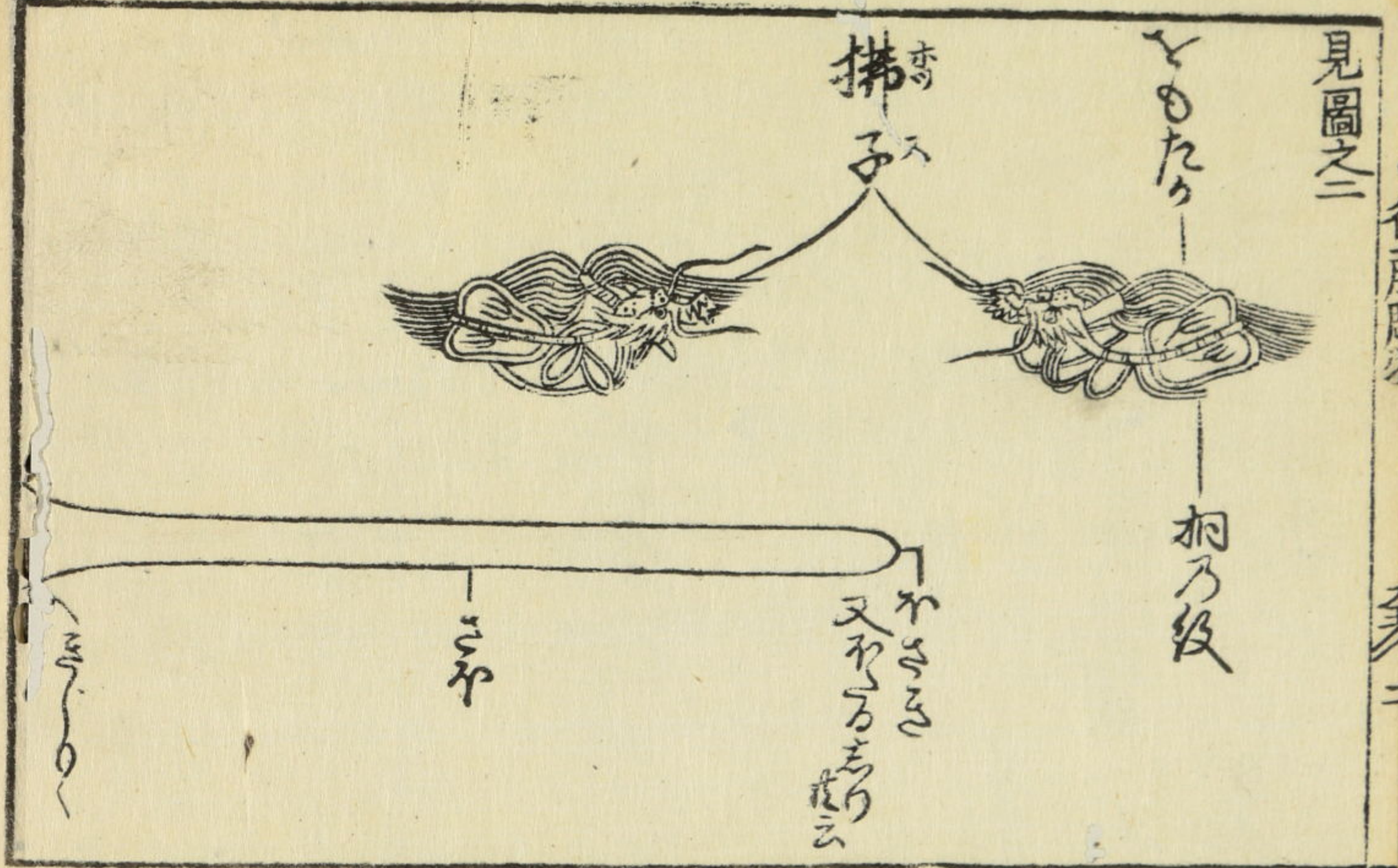
三番波



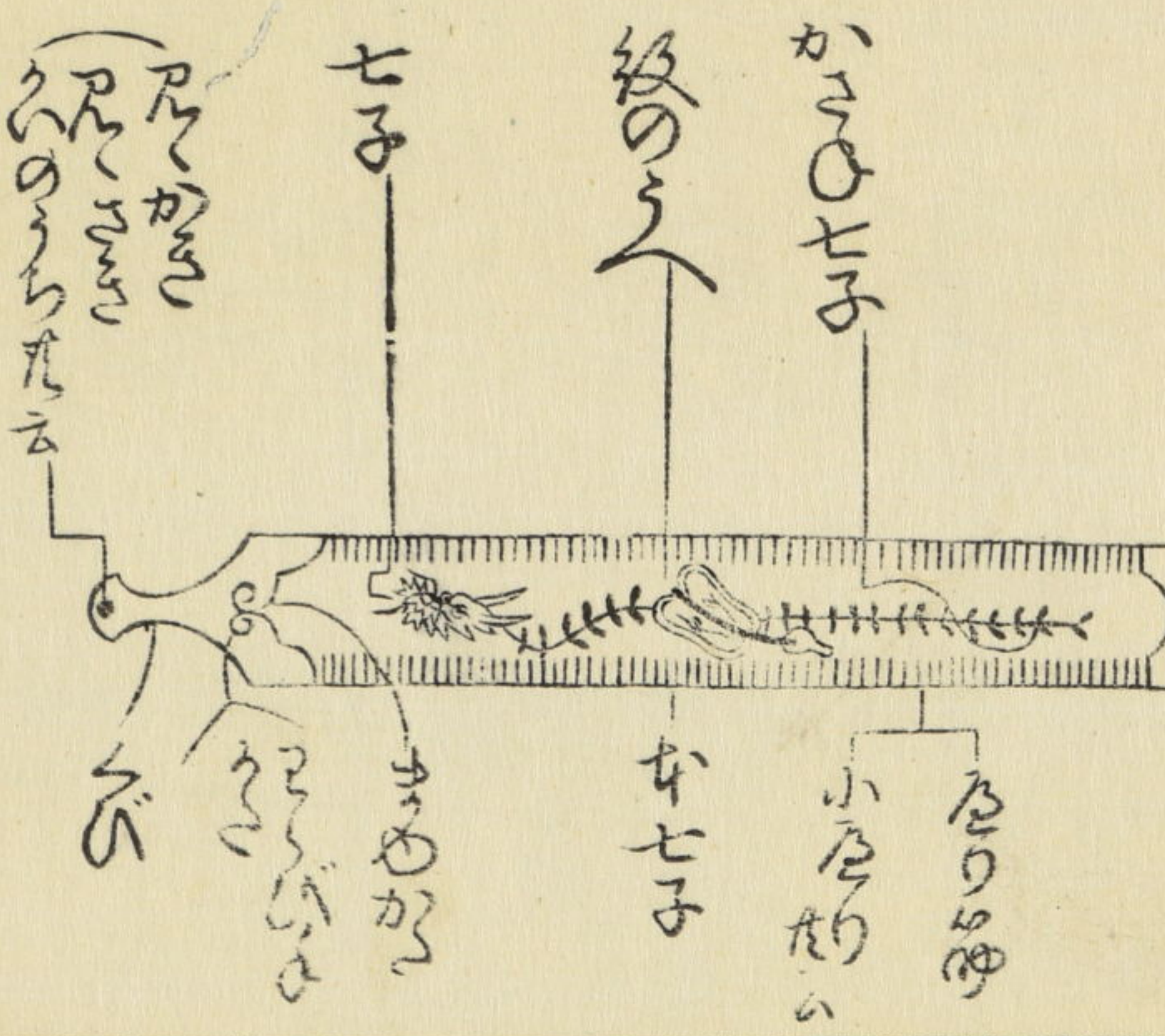
藤の丸漆箱

桐のうけ紋

見圖之三

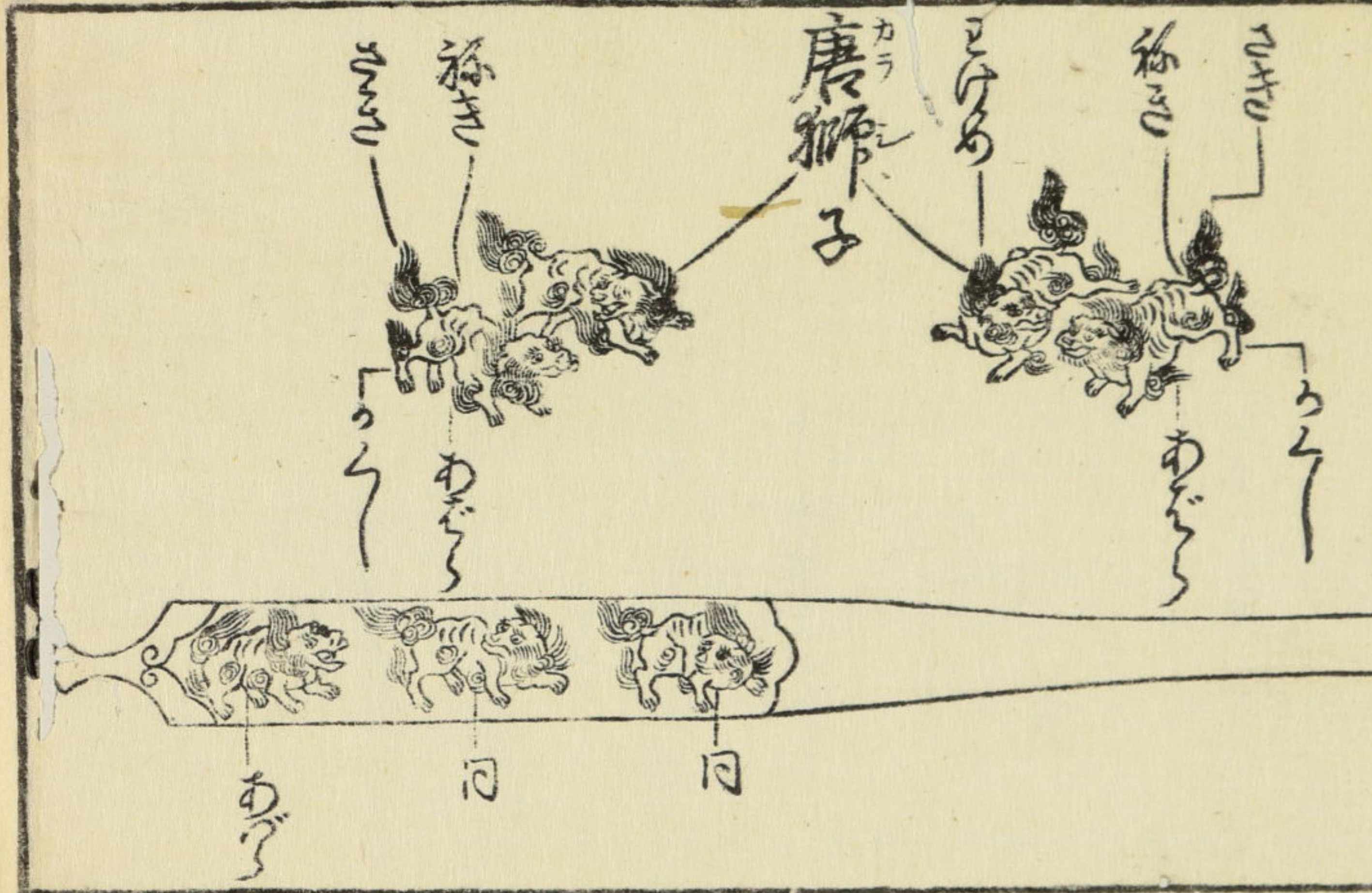


ゆきかき
こをばうこ
ゆきかき



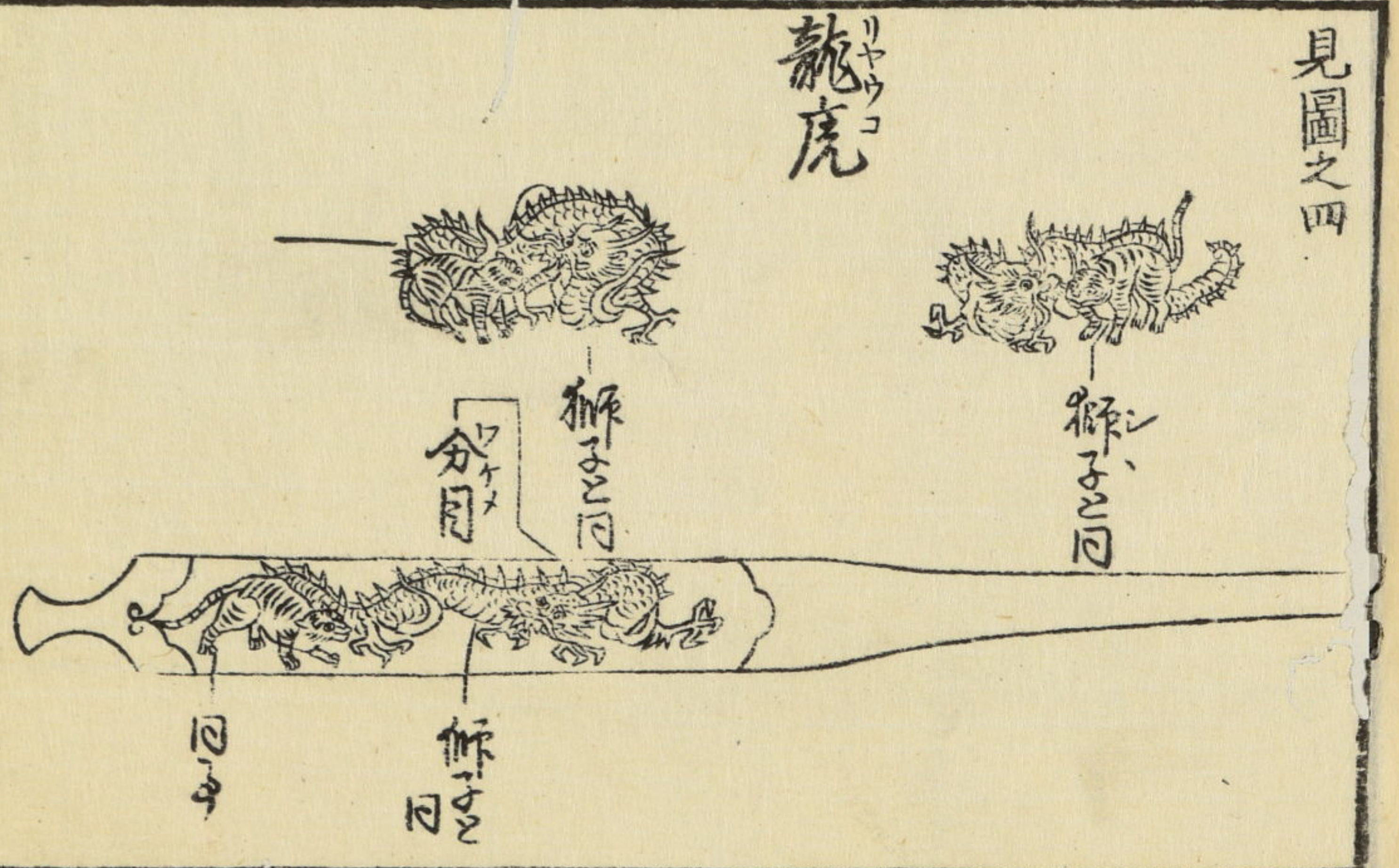
一は并よりを毛糸も短きをあれ
どの大くはすころるなり段
ゆきかき

見圖之三



後藤屋物
三

見圖之四



後藤屋物
四

見圖之五

織女



七夕

牽牛



織女

後藤野抄

卷五

見圖之六

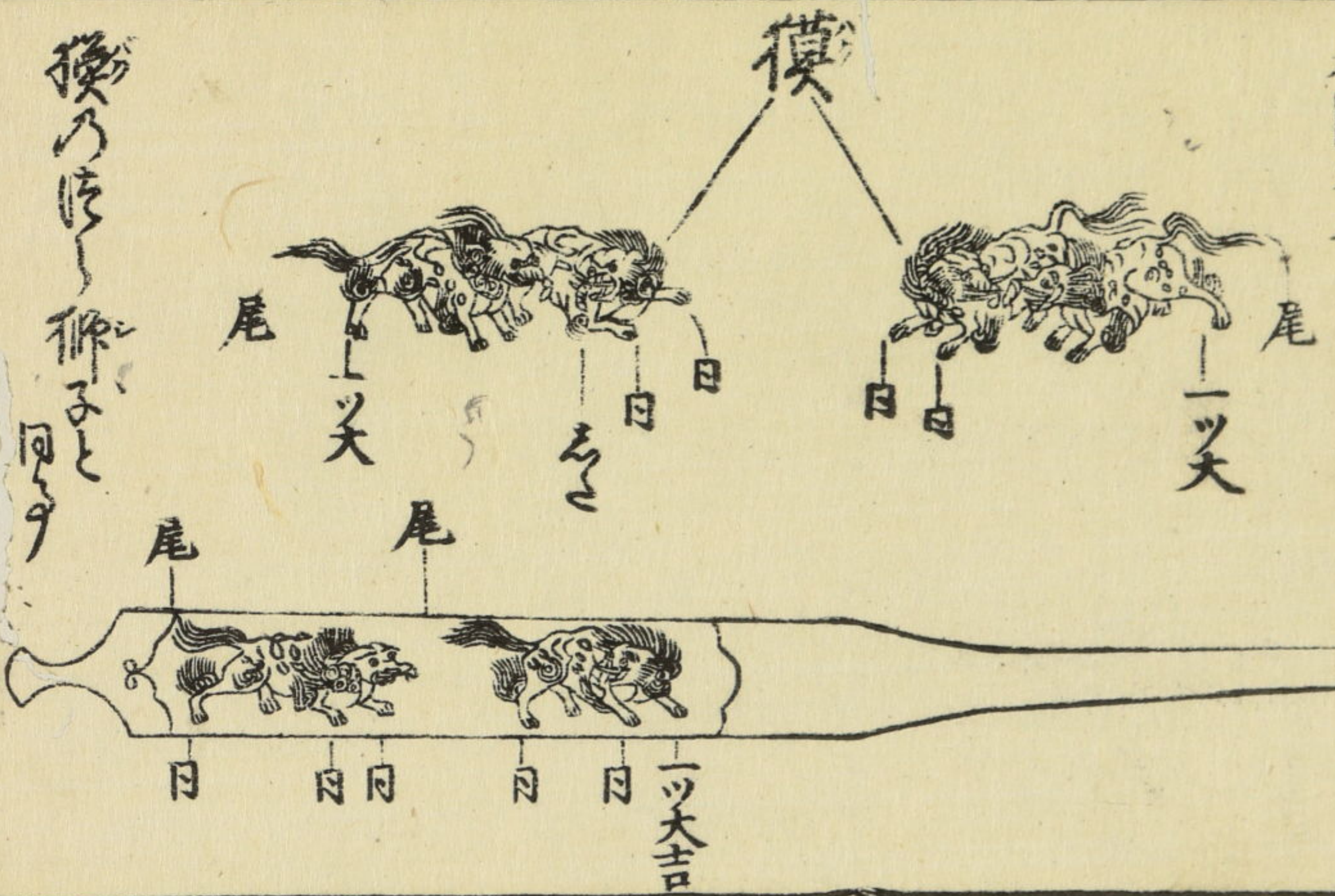
張良



後藤野抄

卷五

見圖之七

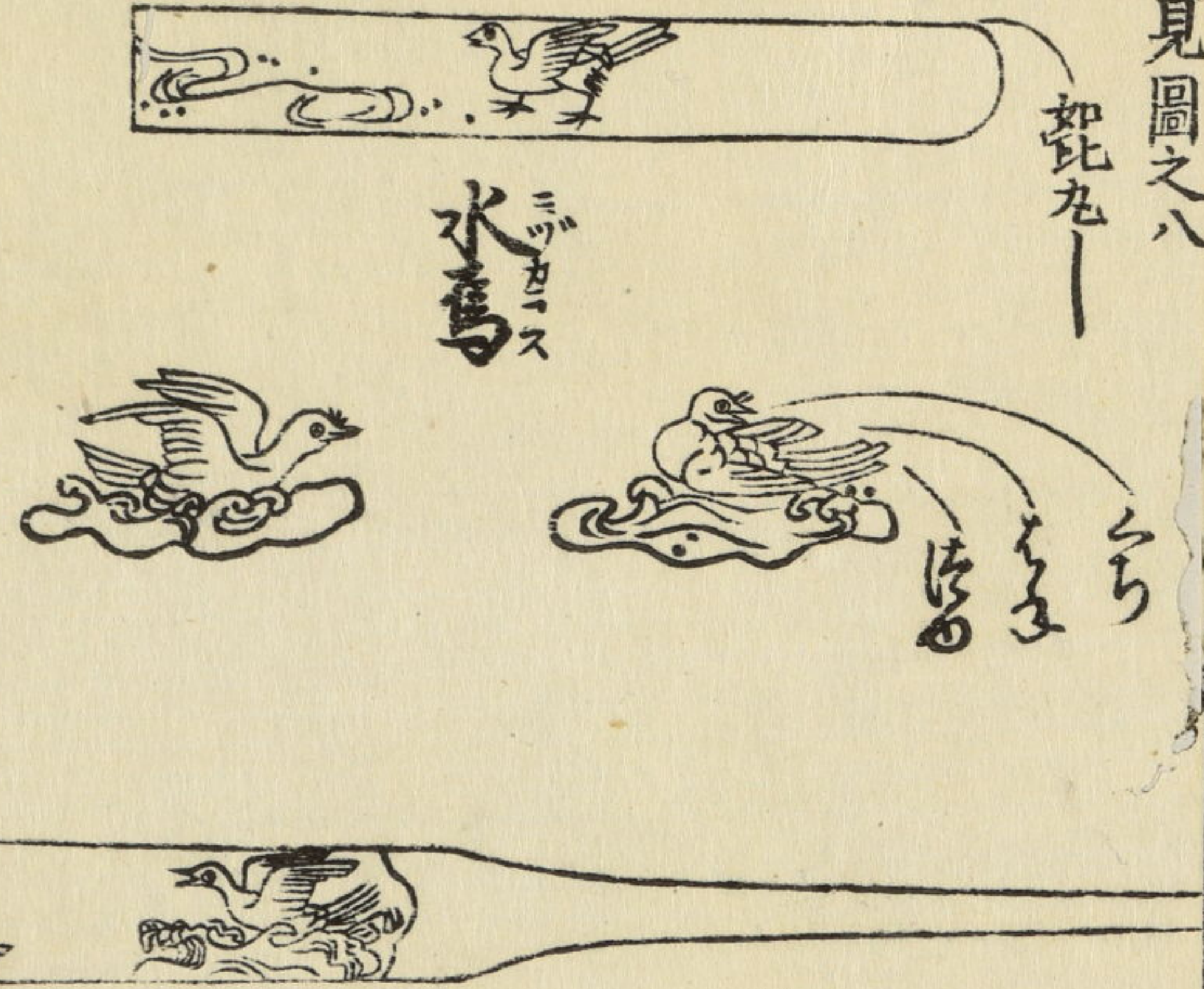


換の尾 獅子と 同

見圖之八

如此丸

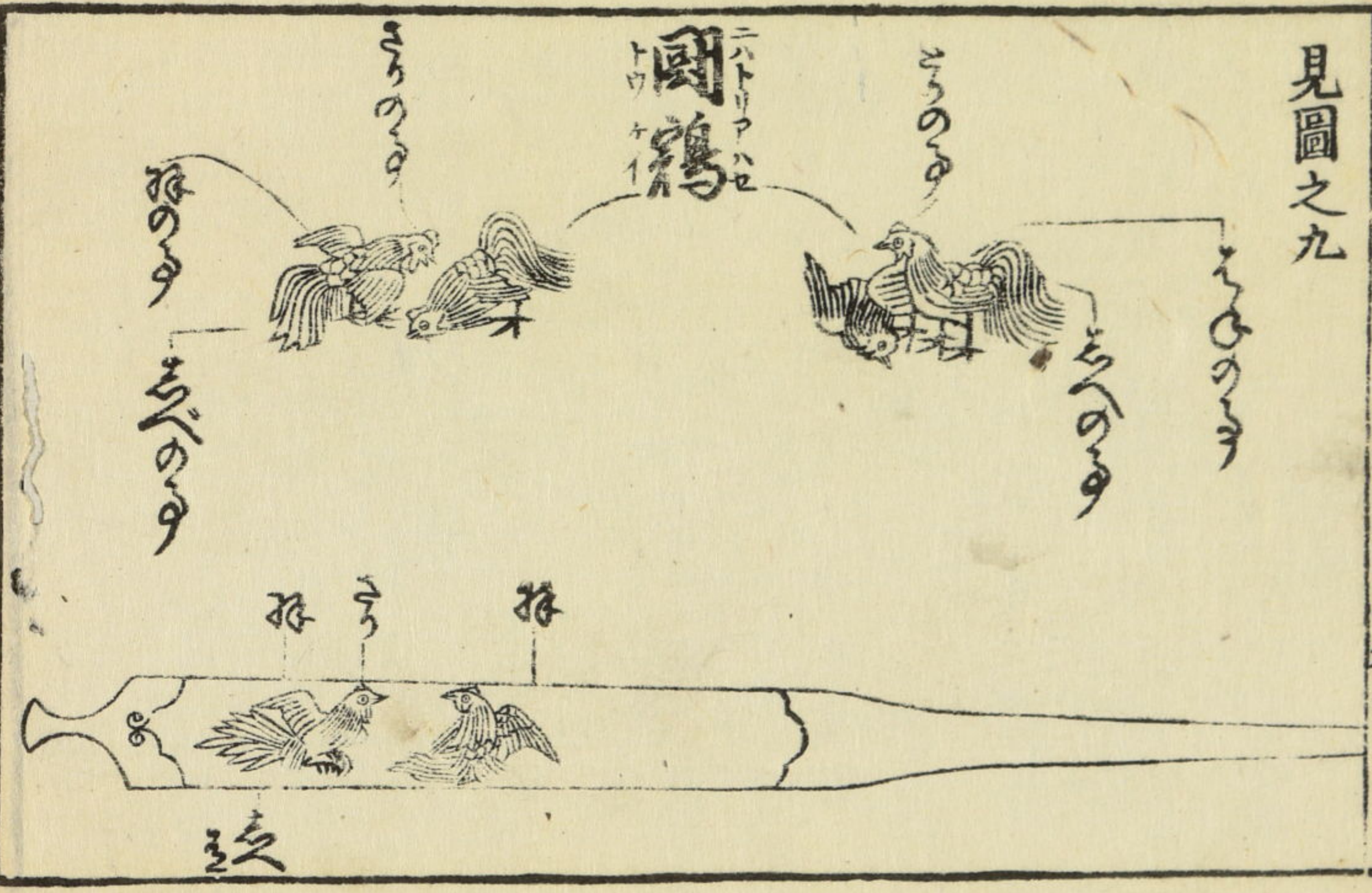
水鳥



一はす法の柄の他小
新他よかまらんあ
てもらんかた一

後...

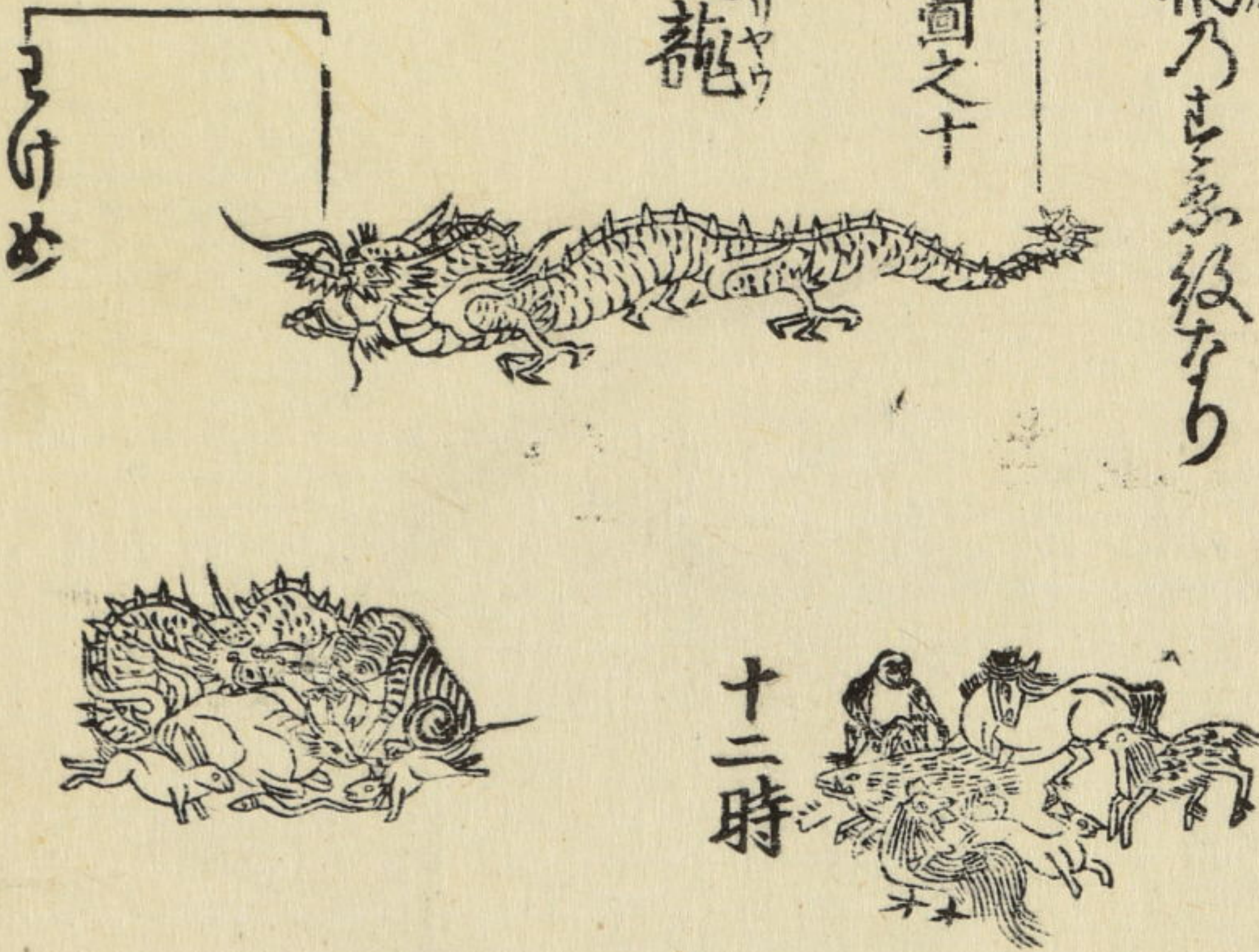
見圖之九



「家畜の類はゆい也
けうのうのうのう
て画(カワカイ)弁(マシ)なり
柄乃(ツル)正(シ)急(キウ)級(キョウ)なり

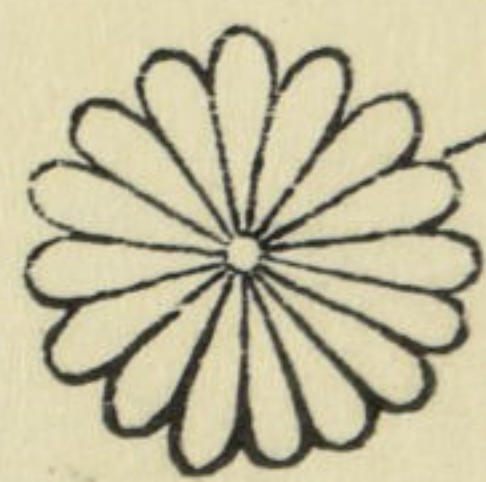
見圖之十

這龍



見圖之十一

うしろ菊



一は菊乃の柄

西の菊の柄

うしろ菊

る菊の柄

うしろ菊

おのろ菊



せりあひの菊



睡猫花
子ル子ユ

菊の柄

是の菊

世系は同

後家代三系家

上

祐系

始祖あり

人五百二代後小松院乃西守

船乃ころの入りなり巧業と編

大ゆ神ふいのり丹絨と

後と意り意ふ妻双乃后入と

後と意り意ふ妻双乃后入と

後と意り意ふ妻双乃后入と

後と意り意ふ妻双乃后入と

上

宗系

才二

中

宗系

才三

中々上

光系

才四

中

徳系

才五

中

業系

才六

中

啓系

才七

下

四郎系

才八

後藤周平 集

中之下 理義 才九 為代なり

二 目費并 取物代付之り

一 七夕乃 同費并

祐系他 出本物 全二枚取

宗系他 出本物 全三枚取

光系他 出本物 全武指取

系系他 出本物 全指取

徳系他 出本物 全指取

栄系他 出本物 全指取

一 何と云 人形物 小形 男 ひとと云 あり

と云 七夕のいり 何と云 笑ひ 取 小形 あり

男 入 小形 人 代付 手 盡 たり

一 武若人 形乃 同費并

祐系他 出本物 全二枚取

宗系他 出本物 全武指取

光系他 出本物 全指又取

系系他 出本物 全指取

徳系他 出本物 全指取

栄系他 出本物 全指取

一 武若人 形中 くれ なく 常 の人 形 あり

右乃 武若人 乃 代付 金子 手 盡 たり

武若人 形 中 くれ なく 常 の人 形 あり

一 龍柳 子乃 同費并

祐系他 出本物 全武指取

宗系他 出本物 全指又取

光系他 出本物 全指取

系系他 出本物 全七枚

徳系他 出本物 全七枚

栄系他 出本物 全七枚

一 公柳 子と 終 小 似 代 指 の あり

入 小 形 生 物 一 級 何 云 也 皆

後藤周作
金三

代付なり

牛も乃目費の事

代付ハ右ハ新柳子不金を扱

三付銀三枚取らる代引ハこれ

牛も不似たり取らる代引ハこれ

先多一終ハ何と取らる代付

考終乃目費并

是ハ右の牛もと大ク之目代付

新系他 出来物 全七枚

宗系他 出来物 全七枚

光系他 出来物 全七枚

系系 出来物 全三枚

睡系 出来物 全三枚

栄系 出来物 全三枚

作本乃目費并

是も右ハ新柳子不金を扱

換取乃目費并

是も右乃系他目お乃代付

貝取乃目費并

右乃換取乃代付なり

虫取乃目費并

右乃貝取乃目おの代付なり

徳乃の取乃目費并

是ハ右乃入ノ取物ハ右の取物

と大畷同ト代付なり但右乃入

ら守系お取物ハ右の取物

右乃代下取なり

取物乃右の取物

代付ハ右の取物

後藤周作

牛ぬねれどと出木物又不も
物まのりなり一丁のたをふ
しり付とのひあしく小似より種乃
物直りくくぐく代付分引へ
まのひかんよりなり

三 後藏家形物伏えんか様のみ
六代カ

第一 祐宗の口傳

一 筭乃級小入系おの級者花よりた
く耳紋のここの内あらはて筭若
後り紋のここのが 所ら花を七子
いあざやんはけぶろくはるり貞冠七
子乃がくここのかをもく只級の出木
みくくを級へ一筭のこが耳のち
いんを級帯あく筭のうらち
まのここのここの新のいんを級

やうこはやら甲の度柳子乃尾をり
いんをり乃まのりたぶく小んお
あり筭とお赤洞あしくびま計
金中く入ここのここのがま入す
小赤赤洞乃巨ありさごま守す右
乃尾をりまのり大なり

六代カ 第二 宗業乃口傳

筭乃さかたりいなり大うこふん
新乃服物と級やうかぬまここの
り何も祐宗よりぬしづく大形あり
度柳子乃目黄いん級乃ここのり
たぶくはんありは付代新乃細ふ
別志く口傳ありと赤まのり出木物
い祐宗の化あまふまのり也あり又新
柳子乃服物たぶんとあらしなり

此(ホリ)地彫(ホリ)とありさざりまうばは乃
あまのいひさうく乃たさあり

六代目 第三 系素乃口傳

一 等(カシガ)終乃彫物(カシガ)のいふと其つとく
足(サウ)とこはりなかりか来(サウ)ハハ一歳
おふ(サウ)乃(サウ)并(サウ)とぬとく(サウ)同(サウ)く
同(サウ)費(サウ)と大(サウ)於(サウ)み(サウ)由(サウ)ら(サウ)し(サウ)七(サウ)子(サウ)の(サウ)中(サウ)の
位(サウ)ふ(サウ)ま(サウ)り(サウ)は(サウ)系(サウ)素(サウ)乃(サウ)他(サウ)方(サウ)く(サウ)見(サウ)
も(サウ)六(サウ)代(サウ)乃(サウ)ら(サウ)ゆ(サウ)く(サウ)代(サウ)や(サウ)と(サウ)見(サウ)
入(サウ)終(サウ)乃(サウ)ら(サウ)ゆ(サウ)く(サウ)代(サウ)や(サウ)と(サウ)見(サウ)
あ(サウ)く(サウ)と(サウ)あ(サウ)り(サウ)は(サウ)り(サウ)あ(サウ)り(サウ)と(サウ)粗(サウ)
お(サウ)ふ(サウ)さ(サウ)と(サウ)ま(サウ)う(サウ)ば(サウ)は(サウ)い(サウ)ふ(サウ)入(サウ)終(サウ)物(サウ)乃
子(サウ)乃(サウ)入(サウ)終(サウ)乃(サウ)り(サウ)ぬ(サウ)は(サウ)い(サウ)代(サウ)代(サウ)終(サウ)
獅子(サウ)乃(サウ)同(サウ)費(サウ)并(サウ)と(サウ)ぬ(サウ)と(サウ)系(サウ)素(サウ)乃(サウ)一
て(サウ)大(サウ)於(サウ)み(サウ)あ(サウ)り(サウ)の(サウ)竜(サウ)擲(サウ)乃(サウ)彫(サウ)物(サウ)
た(サウ)乃(サウ)見(サウ)や(サウ)ら(サウ)ら(サウ)く(サウ)ち(サウ)り(サウ)あり

六代目内 第四 系素乃口傳

一 并乃(カシガ)系(カシガ)な(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)彫(カシガ)物(カシガ)乃(カシガ)あり
あり又(カシガ)系(カシガ)な(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)彫(カシガ)物(カシガ)乃(カシガ)あり
彫(カシガ)物(カシガ)乃(カシガ)系(カシガ)素(カシガ)乃(カシガ)口(カシガ)傳(カシガ)
係(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)系(カシガ)素(カシガ)乃(カシガ)口(カシガ)傳(カシガ)
お(カシガ)ら(カシガ)ひ(カシガ)い(カシガ)は(カシガ)と(カシガ)り(カシガ)乃(カシガ)并(カシガ)
乃(カシガ)系(カシガ)な(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)彫(カシガ)物(カシガ)乃(カシガ)あり
と(カシガ)大(カシガ)於(カシガ)み(カシガ)あ(カシガ)り(カシガ)中(カシガ)位(カシガ)乃(カシガ)ら(カシガ)あり
六(カシガ)代(カシガ)乃(カシガ)ら(カシガ)み(カシガ)ぬ(カシガ)一(カシガ)流(カシガ)ち(カシガ)の(カシガ)竜(カシガ)
乃(カシガ)は(カシガ)く(カシガ)あ(カシガ)り(カシガ)と(カシガ)あ(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)目(カシガ)
費(カシガ)ら(カシガ)は(カシガ)合(カシガ)い(カシガ)は(カシガ)と(カシガ)あ(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)目(カシガ)
見(カシガ)ゆ(カシガ)ら(カシガ)は(カシガ)代(カシガ)乃(カシガ)ら(カシガ)み(カシガ)ぬ(カシガ)の(カシガ)人(カシガ)彫(カシガ)物(カシガ)
く(カシガ)出(カシガ)る(カシガ)と(カシガ)あ(カシガ)り(カシガ)の(カシガ)目(カシガ)乃(カシガ)ら(カシガ)あり
大(カシガ)い(カシガ)り(カシガ)あり

一 家小の申り申す物し但し口傳を
 一 申物に命じてをばしうし申物に
 一 乃種板代やとく申りたり
 一 一箇一申たりと其類に種冊に
 付し同申りあり

一 家小の申り申す物し但し口傳を
 一 申物に命じてをばしうし申物に
 一 乃種板代やとく申りたり
 一 一箇一申たりと其類に種冊に
 付し同申りあり

五 古た物え振の申

一 合ふ乃ほおれあるたてはる種
 一 上くたの申り申す物し但し口傳を
 一 申物に命じてをばしうし申物に
 一 乃種板代やとく申りたり
 一 一箇一申たりと其類に種冊に
 付し同申りあり

六 申り申す物し但し口傳を

一 申物に命じてをばしうし申物に
 一 乃種板代やとく申りたり
 一 一箇一申たりと其類に種冊に
 付し同申りあり

七 申り申す物し但し口傳を

一 申物に命じてをばしうし申物に
 一 乃種板代やとく申りたり
 一 一箇一申たりと其類に種冊に
 付し同申りあり

八 申り申す物し但し口傳を

一 申物に命じてをばしうし申物に
 一 乃種板代やとく申りたり
 一 一箇一申たりと其類に種冊に
 付し同申りあり

くろくもつ田舎がらみりて
やせしものなり

一 乃乃りぬり後野中後と月ひく
後とゆかりとくひかへ体掛みかり

一 かり後ちりきたり田舎がらみりて
かりとせりて

一 駕乃乃りぬり一乃甲みぬれたる
程あり他しきり後まやうあは

一 白髪乃乃りぬり一毛こころと
後ありと眼乃乃りぬり金丸

一 終乃乃りぬりぬりぬりぬりぬり
獅子のつしぬりぬりぬりぬり

一 乃乃りぬりぬりぬりぬりぬり
かこりぬりぬりぬりぬりぬり

一 何なるぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

一 ぬりぬりぬりぬりぬりぬり
ぬりぬりぬりぬりぬりぬり

またうしれあひさし程ふも
るがうしあはれとてくくあは
れあひあはれき分程もくはし
たまひくく竜擗子摸ひさし
かひくすくもさく金子乃り
物と回しり

一 旅素乃竜擗子金子あはれあ
目費乃うしとくふあはれ
まこととてあはれ又ささ
あはれあかられもさし時代の
金いんをさくあはれあ
自給金乃何とてこれさ一二
代目かしく金目あはれさ
又うられもさく金あはれ
うしあはれとてささ

一 旅素乃他小庵金中く服さ

はれかひ乃目費さくはさし
あはれ物なり

一 月他小酒はれ後とて金金
服さく後乃目費さくはれあ
うしとてあはれ

一 旅素乃小刀細工小推れ金子
小山とて廿一社と服付右の目小後
七十五足といふとあはれあ
さささくはれあはれささ
あはれなり

一 小の終乃とてあはれと流さ
あはれはれあはれはれあり

一 わま終乃下ふと流さはれ
かいらさくあはれあはれあ
後終乃流さはれあはれ

一 小乃下ふと流さはれあはれ

徳政時
七

いびきも存く同く

大乃月とげの月ふ口傳あり

岩乃ありうゝを神ありいふも

そひへけりくさざりたる岩を取

とらんまは取田令取と心好く

松乃くすのくさく大乃れ口傳を

考れい子を續けつとさるとふ

口傳これあり

と取乃見付口傳これあり

考るくうしとさくこの

取かこひ乃乃る

笹葉乃るすつうく口傳を

茶花小秋の取の口傳あり

焼付小さくけり

亀乃細いふれもあやしく

せつとくのとやういふあり

いりたる田令わり皆くは取

知一遊代と乃中ふ極たた

りさる一切を

お梅さんるゆく取ら目ね

わらうのいふれなり

お梅田令一ゆく取らゆまれ

お梅赤金ゆく取らゆまれ

何箇あさるは結とらなり

梅并ありはもふ口傳これ

あさるふ口傳これあり

月取乃る

あは乃る

あひ乃る

六 彫物後たりの

三本又の月費并のりたま
 のるのりたれはの枝桐の
 法よの殿乃ぬけ後へ送てく純子
 ちれい後多くんちり又送入方の
 級お松と書信ややり小他い
 添らふたれい後へくはあり
 并乃りやうんをまある所あり
 西おどりちりてあう神あり
 并らりわく童徳乃とよと上
 へあひはて組とつうくうあま目
 費乃持極組と持らへるあり
 といつう乃月費かうが
 雲乃乃月費かうのあり
 然虎乃月費かうのあり
 并ふたのう殿たの具とくう
 給ふ素のう殿たの具とくう

是いせ乃乃持く又と山乃神と
 月費の然然ふたの殿たの具と
 志くまかどぬとあうの神一
 いひてき定わら
 三十足乃然乃月費かうのあり
 志ありあう乃月費并も
 一皮亀乃月費并あり
 一乃然乃月費あり他一ひらふ
 ちらり毛ととととと
 一さ乃月費かうの殿たの具と
 かり子年ととととと
 一と又角三の如本列せあり
 一急乃甲乃あり
 一きりん乃月費并も
 一島公乃月費并も
 一虎乃一乃一後那乃月費

の巻目

一 并あり括み巨目づるもの

一 鹿獅子の揚梅の枝とらる目黄并

一 鹿獅子の母表の餅とらる目黄并

一 并とらる外とらるの物とらるもの

一 あまれとらる目黄并あり是

一 天竺の獅子王骨小梵字あり

一 鹿乃目黄并あり

一 麝乃目黄并とらる一牛乃

一 鹿乃目黄并とらる

一 粟乃目黄并

一 竹小鹿鹿とらるもの

一 獅子小牡丹乃目黄并あり

一 鹿乃目黄并とらる別は括

一 括は牡丹乃とらる鹿乃目黄并とらる

一 鹿乃目黄并とらる他ぬ鹿乃のもの

一 鹿乃目黄并とらる他一鹿乃

一 乃下はひよとあまむら餅と

一 鹿乃乃を靴小あまら目黄并

一 鹿乃一とらる小乃の柄小あま

一 鹿乃合乃目黄并とらる他目黄并

一 表はけあまあまらははひをら

一 鹿乃表表あまららるもの

一 鹿乃の維乃のまねとらる目黄并と

一 鹿乃の維乃とらる目黄并と

一 鹿乃とらる目黄并と

一 鹿乃とらる目黄并と

一 鹿乃とらる目黄并と

一 鹿乃とらる目黄并と

一 鹿乃とらる目黄并と

の巻目

一 猪小肚 猪之小肚也 形如小卵 亦有 同者 俗呼之代也 或云代物也 有 尾也 俗呼之尾也 同者 并之

一 猪二疋 疋之同者 并之 俗呼之 疋疋也 疋疋也 俗呼之 疋疋也

一 猪小肚 猪之小肚也 形如小卵 亦有 同者 俗呼之代也 或云代物也 有 尾也 俗呼之尾也 同者 并之

一 猪二疋 疋之同者 并之 俗呼之 疋疋也 疋疋也 俗呼之 疋疋也

一 猪小肚 猪之小肚也 形如小卵 亦有 同者 俗呼之代也 或云代物也 有 尾也 俗呼之尾也 同者 并之

一 猪二疋 疋之同者 并之 俗呼之 疋疋也 疋疋也 俗呼之 疋疋也

一 猪小肚 猪之小肚也 形如小卵 亦有 同者 俗呼之代也 或云代物也 有 尾也 俗呼之尾也 同者 并之

一 猪二疋 疋之同者 并之 俗呼之 疋疋也 疋疋也 俗呼之 疋疋也

一 猪小肚 猪之小肚也 形如小卵 亦有 同者 俗呼之代也 或云代物也 有 尾也 俗呼之尾也 同者 并之

一 猪二疋 疋之同者 并之 俗呼之 疋疋也 疋疋也 俗呼之 疋疋也

一 猪小肚 猪之小肚也 形如小卵 亦有 同者 俗呼之代也 或云代物也 有 尾也 俗呼之尾也 同者 并之

一 猪二疋 疋之同者 并之 俗呼之 疋疋也 疋疋也 俗呼之 疋疋也

後前居物
七

一人が乃其^{ナニ}とてへ所^{トコロ}種^{タネ}もあり
 何^{ナニ}との目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ但^{タシ}柄^ハ多^シ一
 氣^キ清^シと^シと^シのや^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 殺^{コロス}と^シと^シ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 舟^{フネ}并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 八^{ヤチ}萬^{マン}軍^{グン}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 橋^{ハシ}并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 は^ハ新^{ニウ}州^{シウ}安^ア重^ウの^ノ女^メ也^ヤなり
 去^サ依^イ正^{セイ}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 高^{タカ}聖^{セイ}ひ^ヒ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 費^ヒと^シ房^{ホウ}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 老^{ロー}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ老^{ロー}人^{ジン}
 懸^ケく^ケ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ一^{イチ}人^{ジン}の^ノ物^{モノ}也^ヤ
 乃^ハ神^{カミ}是^レ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 什^シ一人^{ジン}なり^ニ出^デ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ

伏^{フツ}義^ギ神^{カミ}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 大^{ダイ}思^シと^シ布^フ袋^{ダク}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 せ^セ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 程^{ハジ}小^コ素^ソ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 是^レ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 天^{テン}人^{ジン}乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ
 乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ乃^ハ目^メ費^ヒ并^ヒる^ニ

後前居物

七

一 楊炯の目黄并り

一 山崎乃目黄并りハカトウ

一 牛あり糸以ゆハカトウ

一 初比奈と鬼と首引ハカトウ

一 津由乃雨の目黄并り

一 人於二人内一人の火と

一 神今一人老人強り

一 若葉とハカトウ

一 一とゆかり

一 經乃目黄并り

一 宋乃乃ぬハカトウ

一 かふ乃目黄并り

一 樂河孫の目黄并り

一 一りかりハカトウ

一 一人とと

一 乃不わり

一 乃目黄并り

一 福孫素ハカトウ

一 一柄も

一 臨演乃目黄并り

一 本紙かり乃目黄并り

一 人丸乃目黄并り

一 奇と

一 けん

一 并乃

一 素と

一 乃と

一 又七

一 一

一 張

一 と

一 十二

一 乃

十二あり目貴メタカシ云々表合して十二
足あり

一 後獲マカウ乃目貴并ナヒを并ナヒと六月と

とらんとの并目貴メタカシは一方は

あんとら二足つあり

二足つと乃目貴并ナヒを二つ

と足つとあり

一 鞍イサ並ナヒと掃ハキのサのハ乃并ナヒを

目貴メタカシ中ナカ鞍イサ並ナヒを足つとあり

一 今治川イマハリにシ乃并ナヒを目貴メタカシと

あつたけ武タケをシ乃并ナヒを

石イシ越ワ乃目貴并ナヒあり

一 鴨カモ乃目貴并ナヒあり

一 あび乃目貴并ナヒあり

一 かみ二乃ニ此目貴并ナヒあり

一 今イマ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 籠カゴ乃目貴并ナヒあり

一 牛乃つれりふ乃目費并る
 一 徳乃目費并る
 一 牛と引耕他より并小なり
 一 は目費牛一足と少く経路より
 一 少の月乃並み
 一 推乃目費并り
 一 菊小経典乃目費并る
 一 桶乃并り
 一 井せり乃目費并り
 一 派乃と小花袋乃目費并る
 一 然乃目費并る
 一 彼乃と小月と鬼服乃目費并
 一 る目費はと家よりあり
 一 こと小なり二足も服なり
 一 帳帳と衣乃目費并る
 一 藤乃角と袴乃目費并る

一 源氏車と牛より乃目費并る
 一 但しゆり乃より乃目費并る
 一 ともひかりより乃目費源氏車
 一 ともより表裏小形より又源氏
 一 車と牛が引おもるゆりのの
 一 根子のたかあり
 一 ともゆり耳とわりの鼻又牛と引
 一 てゆりおもる目費一方の派乃と
 一 牛と引くゆり又一方の派乃中
 一 子買人耳とわりの鼻とゆり
 一 波の上小雲と月と服より
 一 一乃乃下小月と分一なり
 一 乃目費并小刀柄より
 一 ひよりゆり
 一 赤洞よりゆり
 一 乃目費小なり

ほれらひの河原にせむづらふらふと
一 古にまろ目費并まろむれ山小竹
乃子之命生出らふ人於此^{カサ}に志^キ欲^ク
とがげらふ秘なり

十 松茸と二の目もこの目^ニは多^クなり
目費并まろ又粟^カふつ多^クなりまろ
くらり形^ノ眼^ノ目費并

一 湯^スきかふ玉^{タマ}を付^ツら目費并
一 柘^サ板^ロ乃目費かろ
一 葉^ハ茶^チ乃目費并

一 丸^マづと乃めぬさかろ
一 志^シあろ乃くとほり^ノはめぬさ并
一 柏^カ乃とほり^ノは目費并

一 どうらん乃目費并但^レまろん
入^レらるる
一 尺^シ籠^{カゴ}らるるまろ眼^ノ乃目ぬれ

并あり是もまろん入らる

一 ぬ^ヌおき^ノ眼^ノ乃并まろ目費
一 ら^ラ表^ハふ^ノまろづもも級^ノ入^レらるる
一 糸^{イト}鞆^{タマ}乃目費かろ

一 くら木^ノ二把^ノを把^レらるるけらるる
目費并

一 甲^カ乃めぬさかろ
一 售^ウ一^ツ掛^カほりらるるあり
一 川^カ骨^{ホネ}乃目費かろ

一 乃^ノ仙^{セン}花^ハ乃目費かろ但^レ花
乃^ノも^ノ紙^シわ^ク包^ミらるるあよはえん
一 金^{カネ}下^ゲ乃まろん^ノ紙^シ急^クい^ニらるる

一 乃^ノま^ノ虫^{ムシ}た^タり^ニらるる
一 大^オ年^{ネン}乃目費かろ
一 鳥^{トリ}と^トま^マり^ニらるる目費かろ

一 乃^ノま^ノは^ハ家^カ来^{ライ}乃^ノ味^ミらるるあり

桐乃同費并カウカイ

杜若乃同費并

蝦瓜乃同費并

ぶどう乃同費并

法乃同費并

鉛杏乃同費并

山椒一校カガ乃同費并

八河桐乃同費并

かしら乃同費并

九曜乃カウ乃同費并

ぬ字カウ乃乃同費并

巴カウ乃乃同費并

瓜乃乃同費并

深カウと乃乃同費并

七カウ和カウと乃乃同費并

狸カウ乃同費并但笑顔乃新く

浪乃上小柳乃糸一ツカウ取本乃糸乃

上小柳一門カウ乃同費并

丸カウ乃同費并

紋カウ乃同費并

象乃同費并

舞カウ乃同費并

融乃同費并

轉カウ乃同費并

柳枝カウ乃同費并

短乃同費并

そ皮カウ乃同費并

以外カウ乃同費并

是乃乃同費并

是乃乃同費并

後乃乃同費并

此彫物目利奇如抄 難去依沙 不可之也 見他之志也

後有森右衛尉光俊判

△ 鑿之他者之部

金。銀。赤銅。鉄。銅。鐵金。燒付。口分一。唐鑿。

一 懼忠奴壽 系上他。象服入

寛永

一 同 七右兵衛 系 象服入

一 同 長右兵衛 系 象服入

一 忠次 系

一 貞家 伏見 報象服入

又長輪象服入

一 貞長 同 右同

一 貞信 同 右同

一 加賀守 大坂

一 久多親 同 右

一 鉄人善本尉 江戸

一 大隅 同 右

一 戸田長右衛門 尾州

一 山吉左衛門 同 右

一 定長 紀伊 代々

一 正河孫 會津

一 駿河 伎前 代々

一 くのり傳 長門

一 かりら権之丞 同

一 法安 廣嶋

志山又七

肥後

志山又七

唐津

所波

○全象形入文

紀内

越前。鈴の形

赤尾甚左

日 ○重絶又

日 吉米

日 ○右回

てんがう

奈高。まき

金山

分れも古

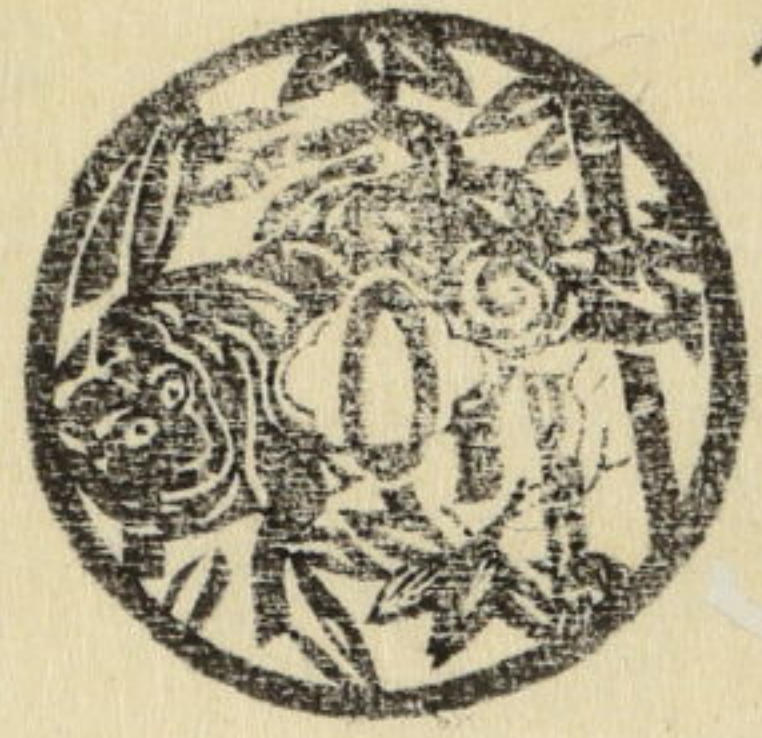
漢南

象形入

△古鏡の赤小豆之文又辨ふと他
 下化之原と辨乃及之の一文
 之乃らと一之古鏡は其
 耳ととりて一文字ふとるも
 古鏡の耳ふりく月あつ物
 △古鏡之象

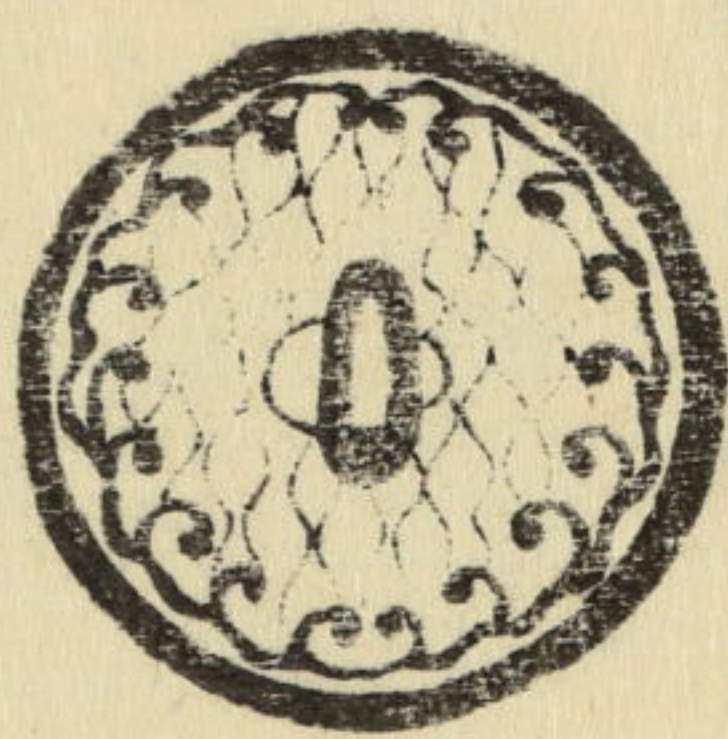
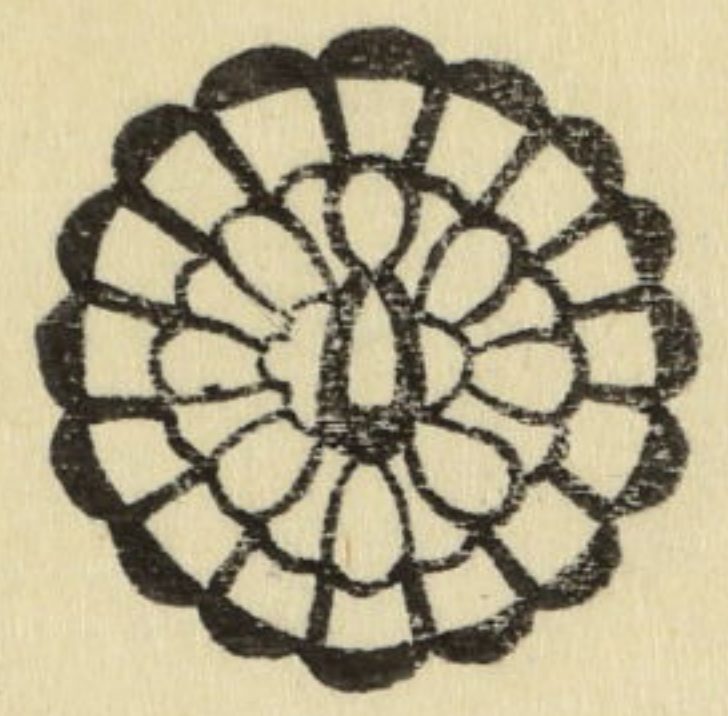
竹小虎

茄子小文



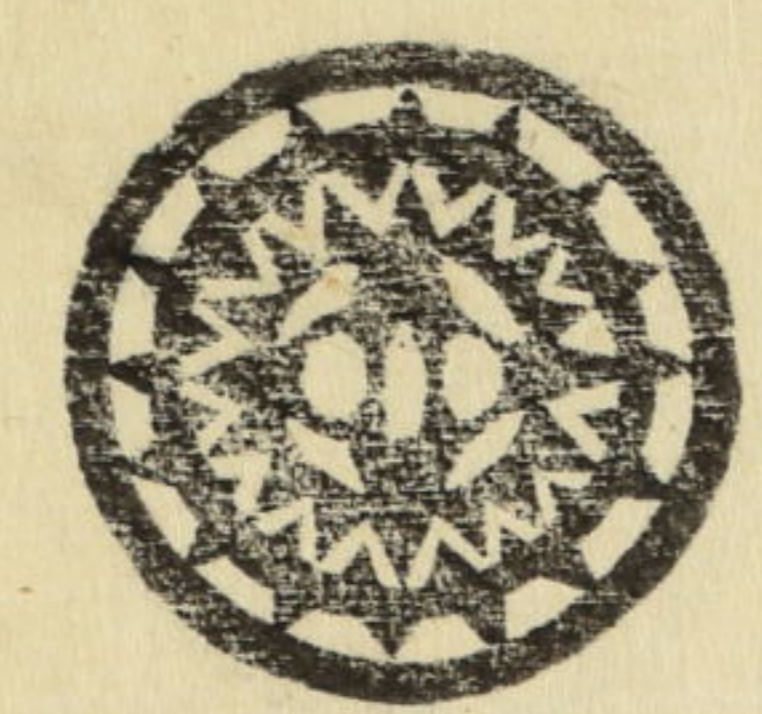
つんがう

おん



漢南

あつ

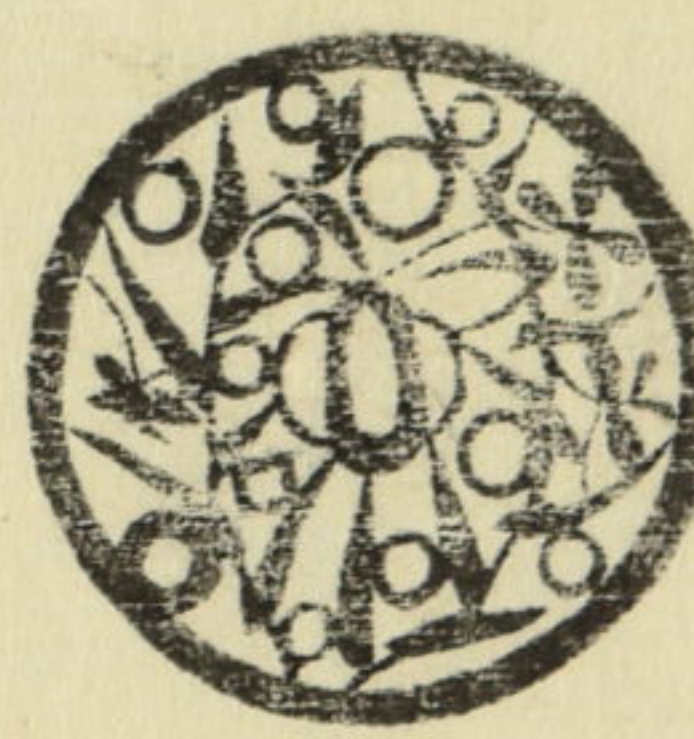
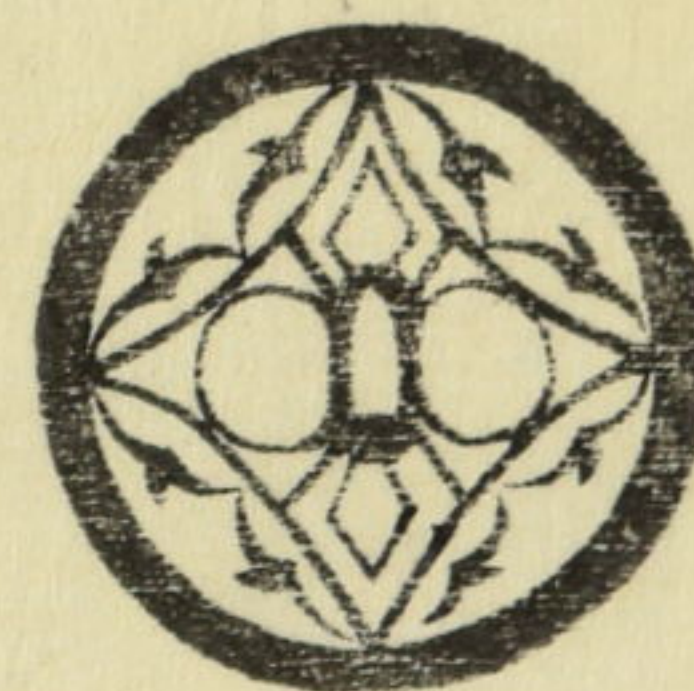


古鏡

十

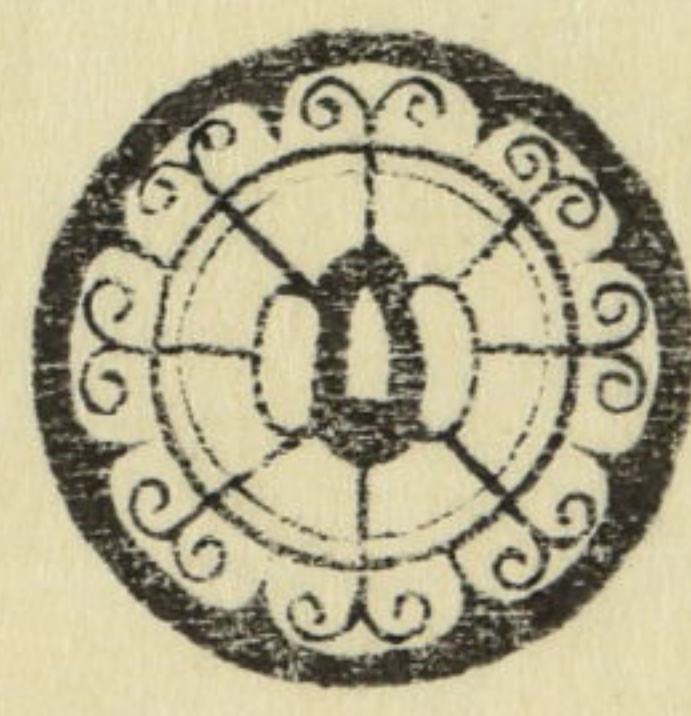
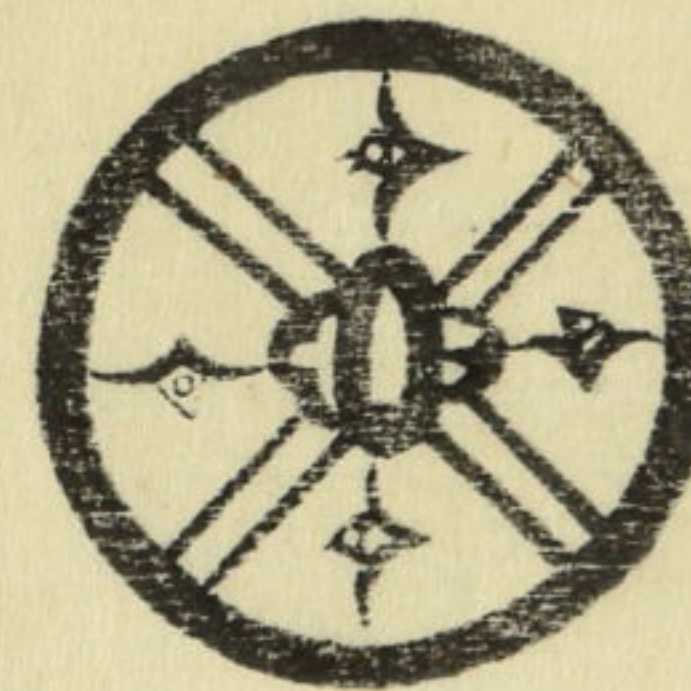
東邊の字

西邊の字



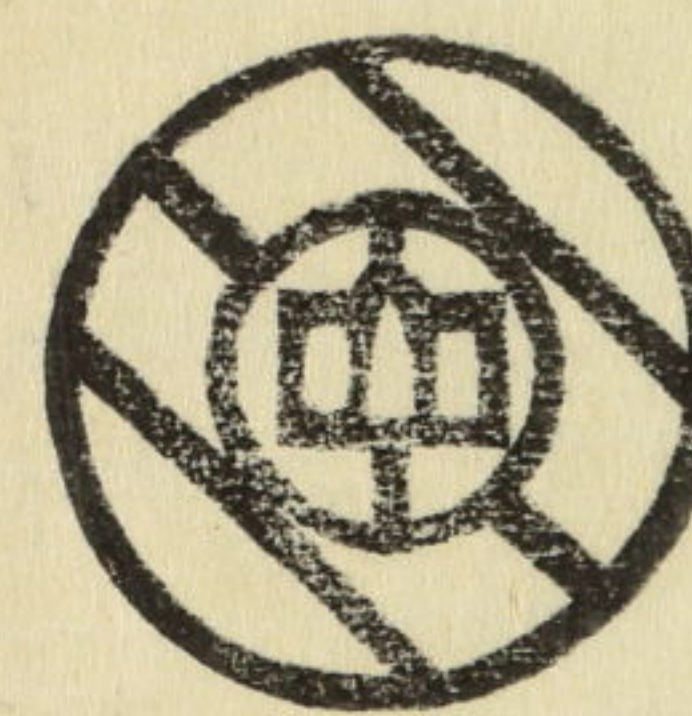
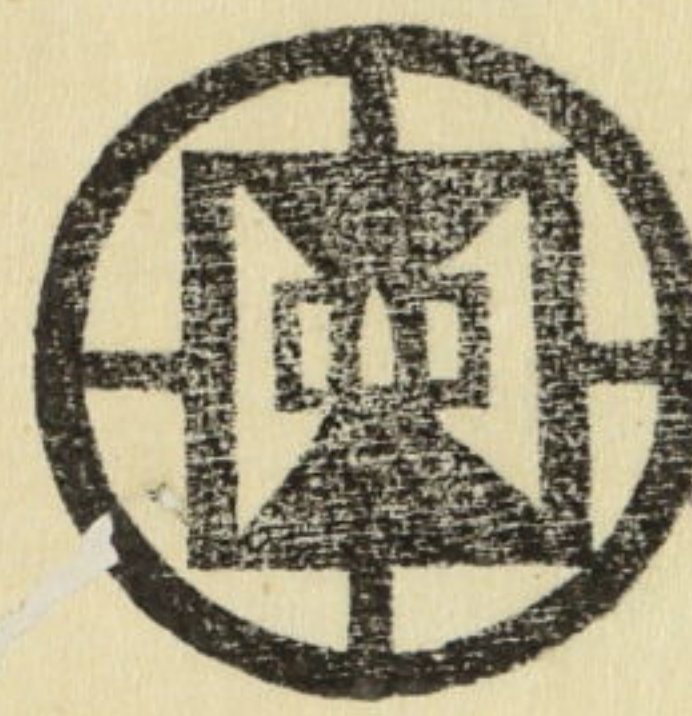
東邊の字

西邊の字



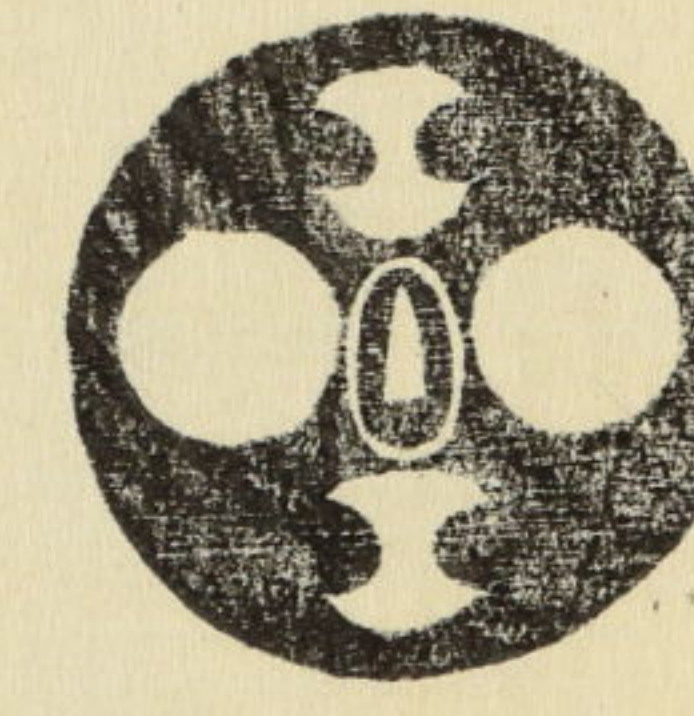
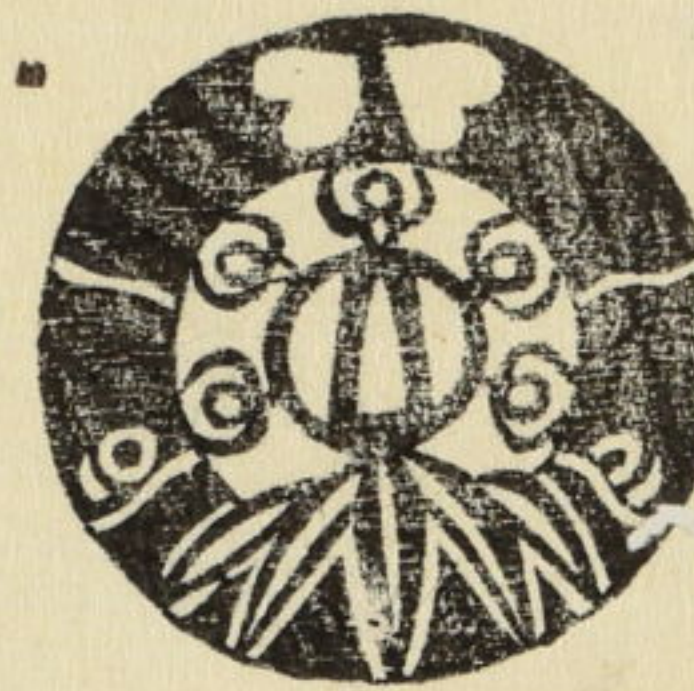
角にあり

西邊の字



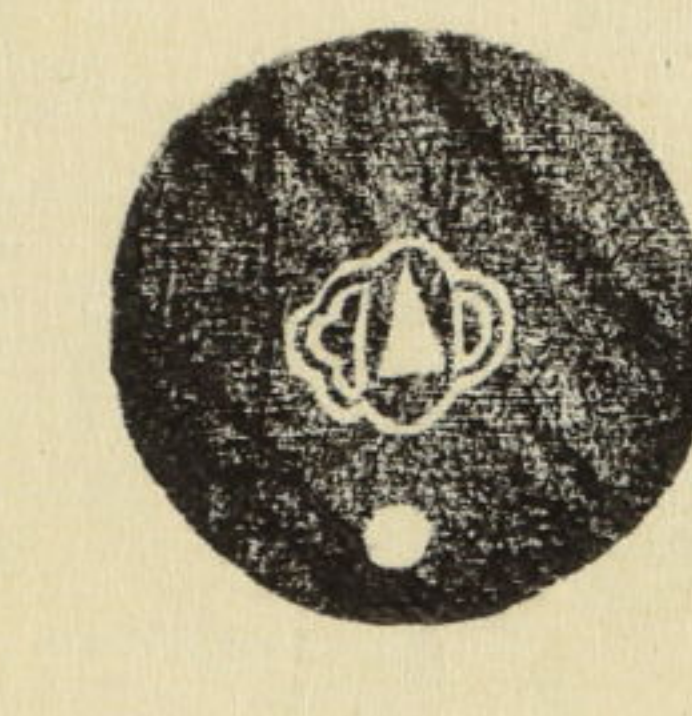
西邊の字

東邊の字



東邊の字

西邊の字



東邊の字

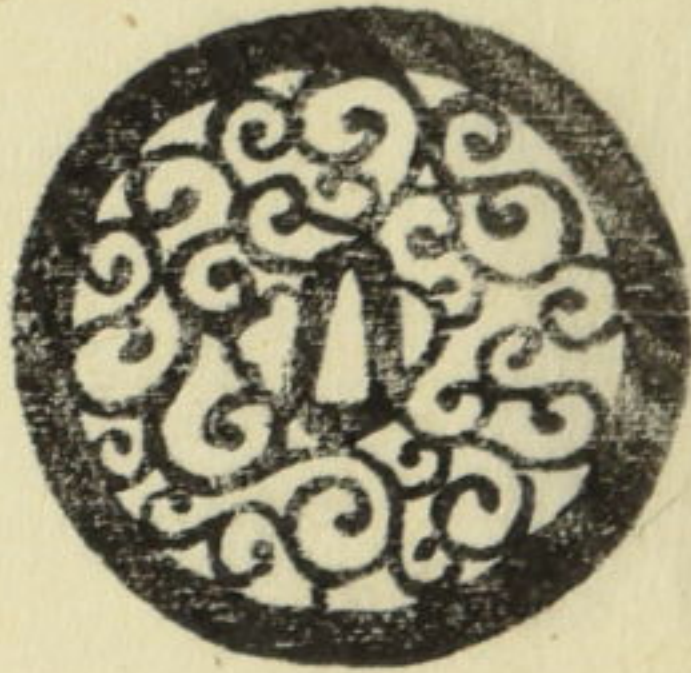
西邊の字



古鏡

七

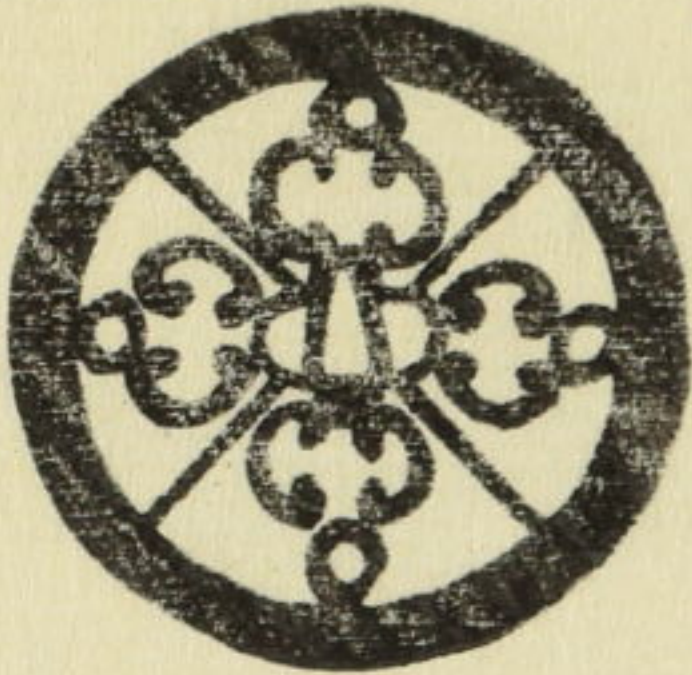
右
左



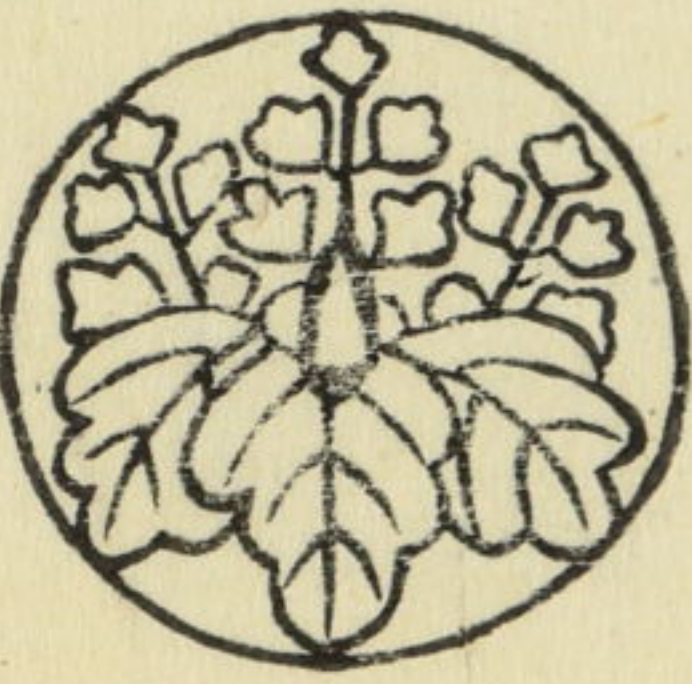
ワビの流を



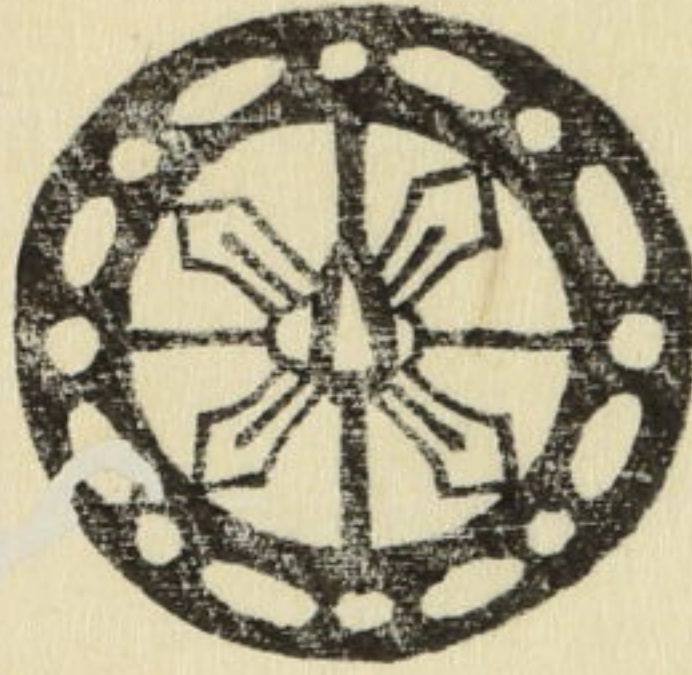
乃乃乃



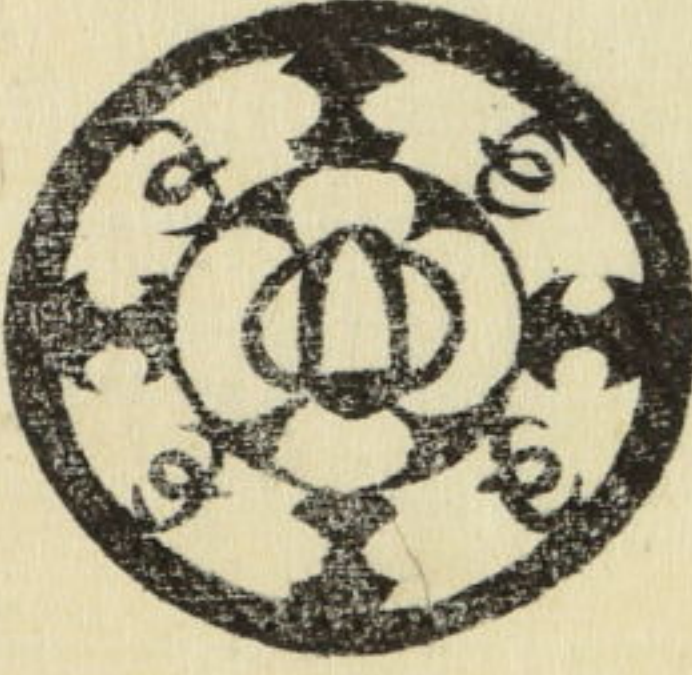
丸のり



きり



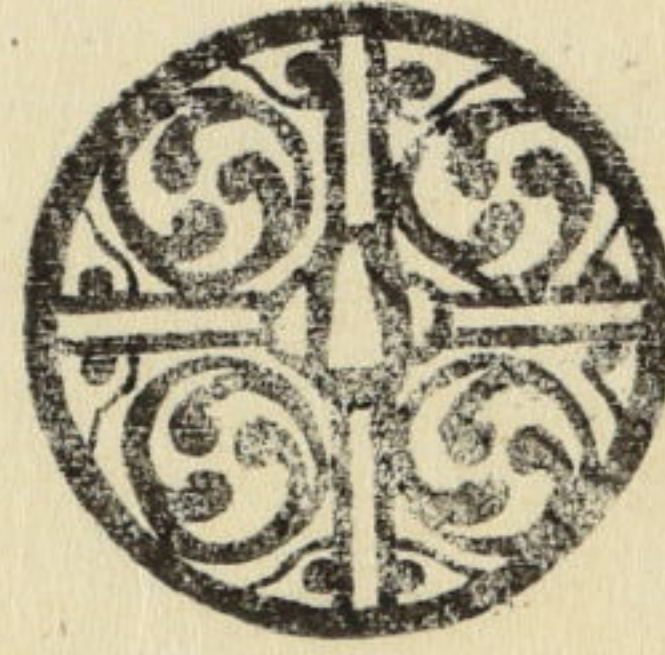
まんが



おん



三



ワビ



ワビ



ワビ



ワビ



竹

右
左

百金

十

景流



鳳凰



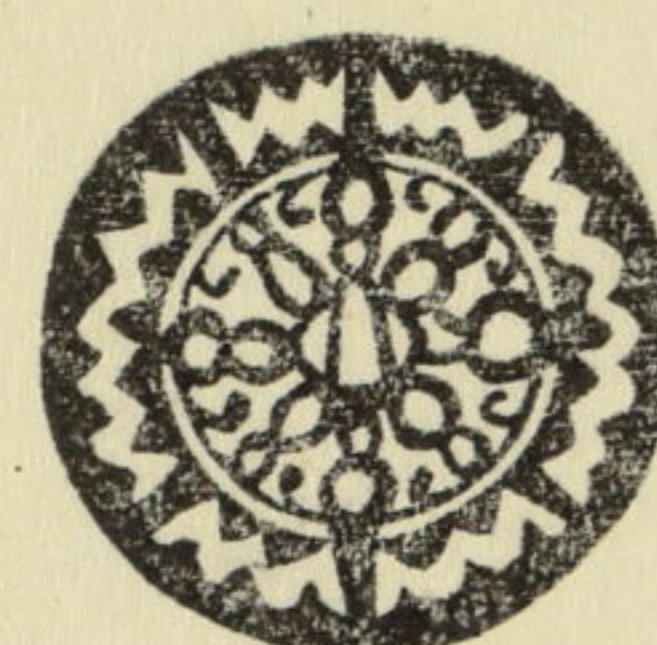
花



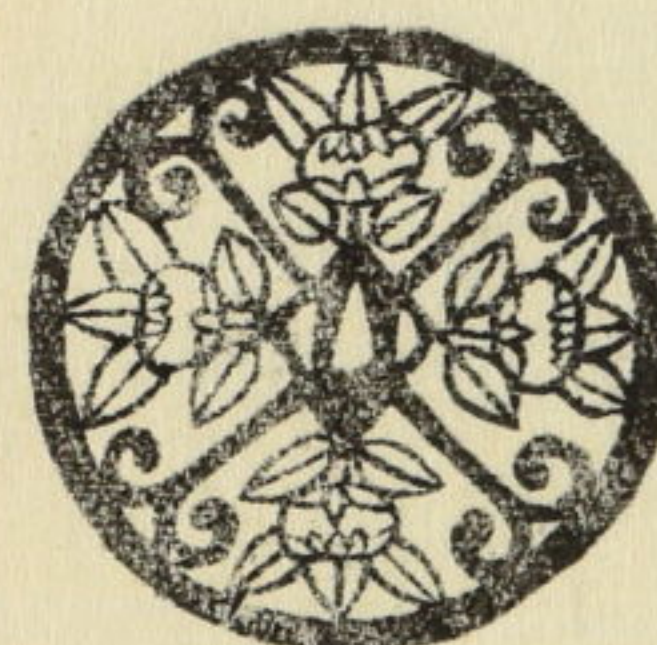
鶴丸



花



花



みのめ



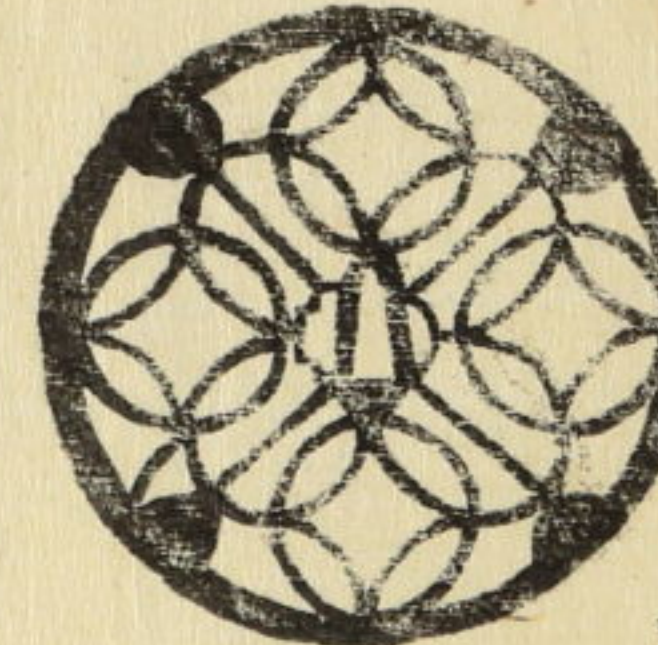
流



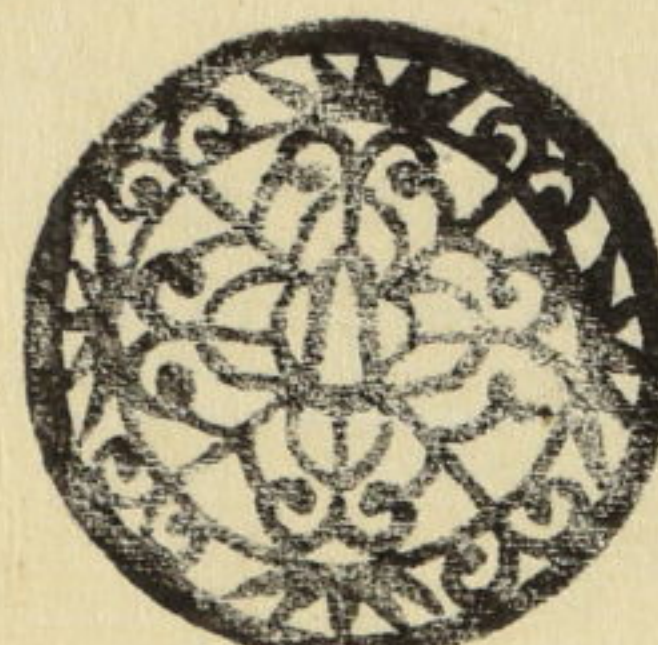
志



花



花



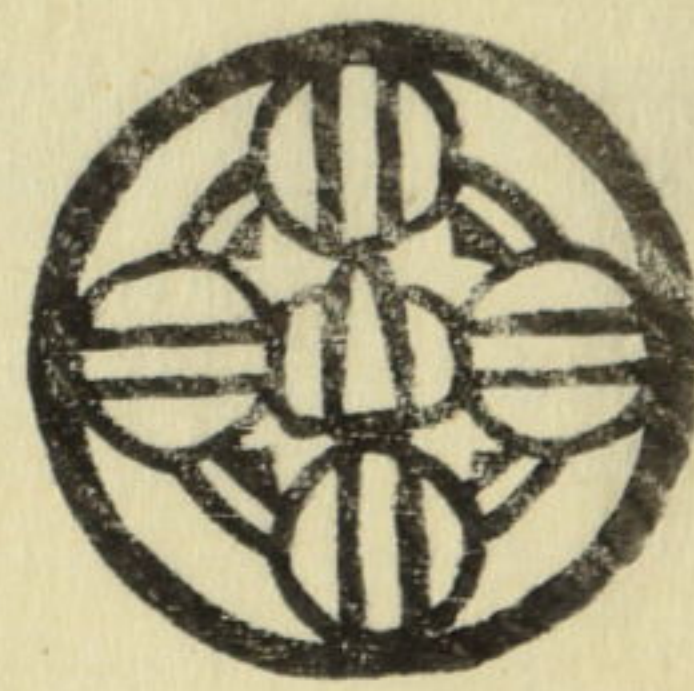
花



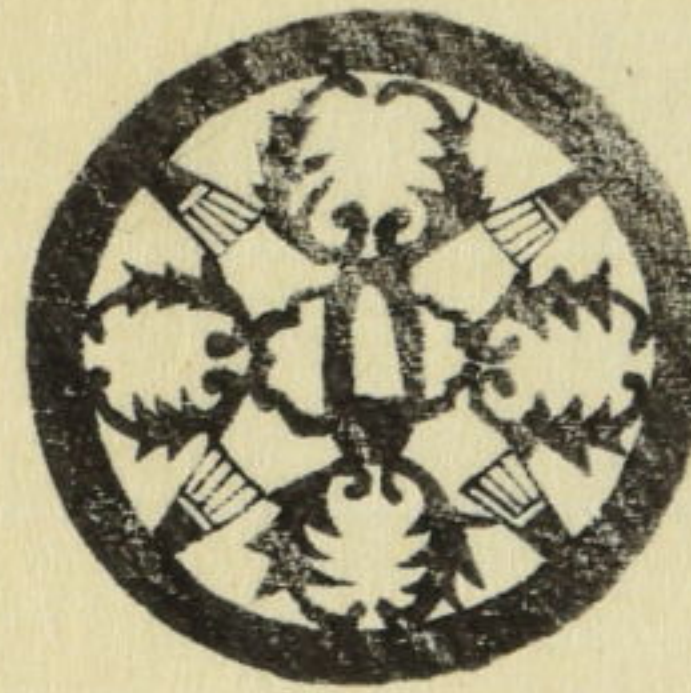
百金

十

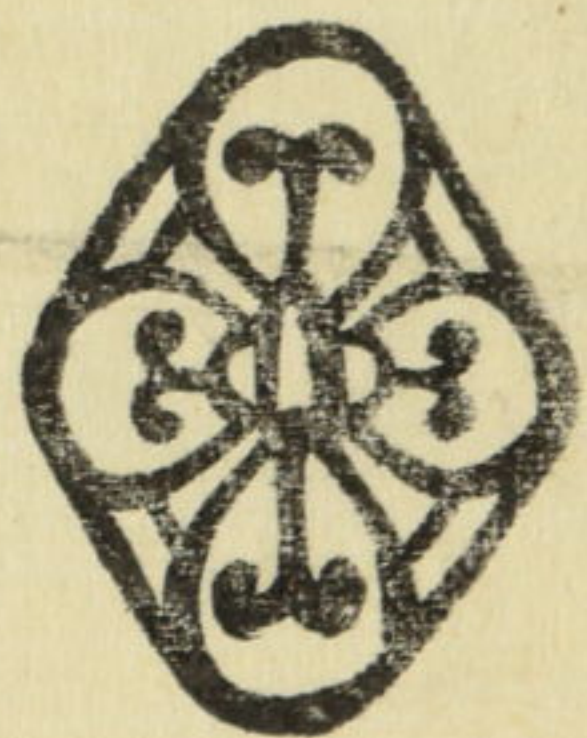
木尻



ちやせんふまわり

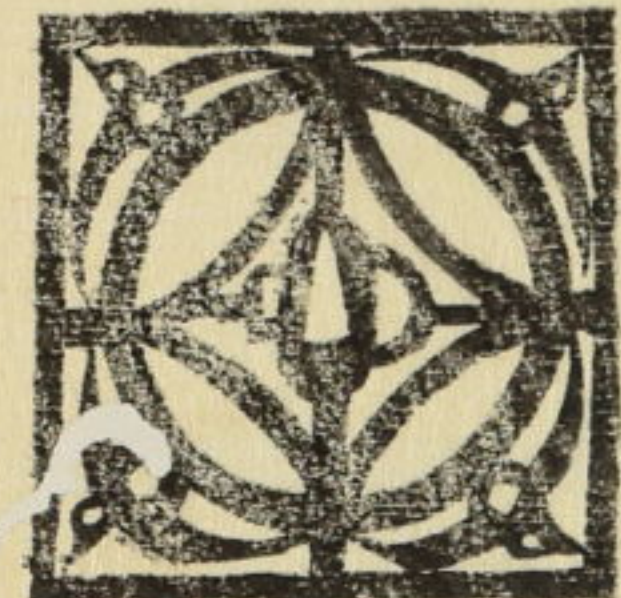


ワシハニシの

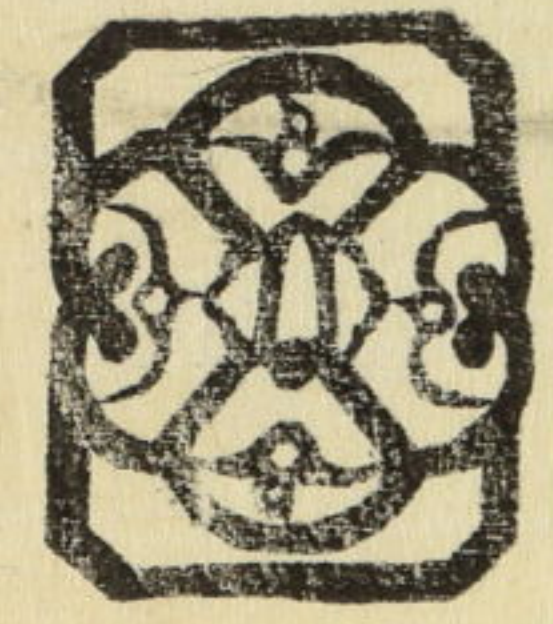


まんま

角にふる



角ふ木尻



△柄紋 並 鞆紋

ちやんと 柄

一さんと先 柄

うすこ 柄

一舌と先 柄

あいのね 柄

一とひろ 柄

うすこ 柄

一海子あい 柄

縮綿 是鞆

一背ちりめん 鞆

新ちりめん

一とん 柄

うすこ

一背くろ 柄

東梅り

一かんせだ 柄

地ちりのり

一川さめ 海子 柄

あんのん

一ひん 柄

あんの尾

一ぬたさめ 柄

髪りがんせだ

一虎さめ 柄

ふれ子

あのがめ 日本中流河 仲はあひまのり

うすこ

目

一 ひさしりごん 日本おし

△ 甲 泥漫 化者之記

一 小田系小田節 系大佛上子

一 善田出久 系永三法下子

一 小田系信家 系正三法

一 惠賢 信長時代

一 僕南 神象眼入

一 南 神象眼入

一 加賀 徳

一 加賀 徳

一 甲 古記と用ひす

一 甲 寺延と一とす

一 三枚強と名とて同くきとる

一 左ふ七百目と名とせりとる

彫物彩金抄終

右後藤家數世彫物目利彩金抄
名家的傳之秘書也並古來銅鐵
古鐔之圖解以故加後編悉改正
校合而鏤干諸梓者亦也

原版

享保三戊戌歲六月吉日

寶曆五乙亥歲三月改正

明和七庚寅歲正月再版

寺町通松原上五丁

京都 菊屋七郎兵衛

日本橋南一丁目

江戸 須原屋茂兵衛

通本町三丁目

江戸 西村源六

心齋橋筋順慶町

大坂 柏原屋清右衛門

攝都書林淡川稱觥堂藏版目錄

大阪心齋橋通順慶町

柏原屋清右衛門

民部遊燕編集

間 年中故事要言 大本 全部七冊

抑正月屠蘇白散蓬萊... 月煤拂節季小ホに終る... 和漢の諸書とひいて 故事未歴と云々

巨正純 巨正徳編

本朝儒宗傳 大本 全部三冊

本朝儒宗傳 儒学ニ秀でなす... 郷且異國より来朝... 持... 人の傳と委く... 傍に論... とつけ其事實と云々

益軒貝原先生著

五常訓

全部 三冊

仁孝禮智信の五常とあやうげなきの
くもぐもも道とことしに
船への身れりてわらざる
かやうり

和訓童子訓

全

男女初時より年々
さし法とまくり
こころえ初逢の
あやうり

新撰字鏡

僧昌住撰

全部二冊

この書も
見へる
つひ免四声と
訓と
重宝の

和字正監鈔

全部五冊

文字の
かたじけなく
おのりたる

武家百人一首

後入 全部一冊

小が
武家
その

後撰百人一首

全

世に
後と
画き

後普光院撰政殿下御撰

台麓先生輯

文林花押集

小本

全一冊

儒医書家逸人画家緒宗釈道ホの文人の
花押とつゆり古物の書画真偽鑑定の一助
小冊やうり

和漢錦繡一覽 袖中小本 全一冊

和漢古の織物のふまゝと集めてよく考へた地合
織をりやうせん余財代子敷をいゝまゝに

藤井正以輯

茶席祖傳考 附墨蹟鑒定 全一冊

和漢の諸禅師墨蹟の妙絶ありとてよく集り
其法嗣法徳時代の遠近ホと詳く参考
好士の重宝とらん

古今銘畫大成 再板新鐫

後鳥羽院の番紙治とけり後園名紙治の系
圖目利又中の心づゝの系力銘一條のり
好士の重宝とらん

万尾時春編 算法入

勸農固本録 全部二冊

豊化とやらは土地のおおふおとかんぐ
地勢清万のりよとらんがけのりよも山
林木仕立とらん其余田家市室とらん

馬場信武和

看命一掌金和解 全一冊

唐の一羽禪師のりよのりよとらんて人
一掌金とらん表深況とらんかんぐとらん
おわりよ切氏和氣とらんよとらんよとらん
やとらんよとらんよとらん

原本左傳系譜 古呉張我城輯 小本全一冊

春秋左傳とらん出の帝王諸臣の系図
とらん委とらん正とらん親子兄弟の續とらんよとらん
著とらん続書とらんよとらん便利とらん

圖繪室鑑

并君臺官印

全五冊

画の法三品三病六要六長あり
法書画の定式歴代の名画能書せし
傳とつみひらきし一尚其人くの印と
くくく國せり

續圖繪室鑑

皇明書画考

全一冊

前編より後編まで此よりわけて微細に
且明よりりての書画の名筆とくく
りりり書画家のたよりり

閩

南産志

書

閩中の産物五あくま
くめ草木禽獸魚貝
おる近委ぐ出生能毒
をくく物産家の便
利とる

全部二冊

三

本草和解

小本

全部四冊

本草の諸書と改正しむりき説と解
和け医学者に限ら世人一統とら
くして重宝とむるべき中りやとる

日用食性和解大全

中本 一冊

日食する物の能毒諸病の種お好りの
おとあくくくくく各活按摩の極意秘
傳と画圖とらりてつみひらき

濟民日用大全

太田春舟新增

全一冊

本草の諸書諸家の評論をくぐへ薬
種の製法日用食性の禁好脈の診法針
灸丸散膏茶ホの秘法医瘡一條一箇も
くくくく尤ひくくくく見安く
俗家くくくも医志くくく人くくく
勞わくくくくく一本やわ

瘥治調密記

全一冊

衆方規矩合類瘥治重密記ホと集りその上
神方數多増補且誤と訂しよく訓を
解和げ平ふと以て見安しむ尤も医学者
の利益よりた世人一統所持るいて重宝なり

養拙斎退春和解

小兒瘥治調法記

全一冊

小兒初生の時をばよくて諸病のうき秘
術妙業の法をてら集り小兒一際ゆるる
るのゆるげらし平ふとゆるるるあししめ
せよ一統は小兒とてゆるるのやまらる

藤井見隆和解

錦囊妙藥秘録

全部二冊

大明王夢蘭が著り所の諸病妙業の秘術を
和解し医学者流に勿論俗家の人もゆるる
よとゆるる急症の難と免るの重宝なり

袖珍醫便大成

全部一冊

医学診脈の次第養生諸病の論丸散湯
やく膏やくその余諸家の妙やくまでく
くくくく尚按摩導引の法婦人小
児の科めくくくえホとつまひくくく

難病妙藥抄

小本 全一冊

世に希りる奇病難病と一味二味の單
方妙業とてゆるる活ゆるるつまひらる
すた医家の主方らるる秘傳妙方と集

醫學早合点

全二冊

医乃の法式診脈調劑の心得とはド
医学一際のとてゆるる平ゆるる入
讀やくくく得やくくく入るる
書みして初なるまのゆるるゆるる
人のたやくく入

銀海精微

大本 全二冊

眼科一際と微細より秘術法を
引くて眼病瘡治を
おのの醫らるるんがれり

新刻泰補

馬師問編輯

馬經大全

全部四冊

馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯
馬師問編輯

古今

揚弓射禮蓬矢抄

全部二冊

揚弓の故実射禮乃々の圖式ありて
古今の故より
此乃の法式定例なり

昼夜調密記

全一冊

万治文子取案文請お坊
中五花拍南柔陽拍南治花付技狀
立一申瘡治末方食地能毒菓子味
嚙さけの製法さくその余量扱は用由
べへ用ひものものるはらめ雅俗
うきうきなるものせなり

奇説異談

古今著聞集

全二十冊

神祇秘教政道大臣の文学和守管住
兼能書術乃孝の忍意好色武勇
夫る藝お撲強力画家蹴鞠博奕偷盜
祇言哀傷遊逸宿執罔諱無言利口
怪異變化飲食州本魚虫禽獸おの
しるは説話なり

稻葉通龍補正

鮫皮精義

全部二冊

此の鮫皮は種族の... 又製法の... 擲精の... 其の... 戦... 故実を...

夢梅軒章峰撰

通

唐太宗軍談

俗

全部二十卷

隋文帝の代... 天下統一... 楊帝... 即位... 諸國大乱... 唐一統... 唐太宗... 全部二十卷

松下氏撰

同宋史軍談

全部二十卷

後唐の第二... 契丹... 宋の太祖... 宋初一統... 戦の勝敗...

萍水散人撰

同臺灣軍談

繪入 全部五卷

國性... 鄭成功... 臺灣の地... 繪入

清閩海鄭居仲著

國性爺鄭成功傳

全部二卷

國性齋鄭成君の事蹟... 軍功... 大宛... 鄭公の心と失... 倭書

法橋玉山画圖

繡像國性命忠義傳

全部十三卷

大明万曆帝著倭寇... 國恥... 明神宗十七代... 桂鄭芝純... 倭とて... 山本序周編

山本序周編 橋守國画

繪本故事談

全部九卷

和漢の故事... 重と... 矢と... 實と...

大岡普存編 橋守國画

畫典通考

全部十卷

花と... 押画... の書

橋保國画

繪本詠物選

全部五卷

人... 其... 秘... 雲... 雪

點二菴岷雪翁筆

百富士

全部四卷

江府中... 所の富士...

諸州名所の地より眺望の光景を以て上り
 下り富士と画くさまは富士と画くの人要
 用第一の本なり

旭江先生真景縮圖
 日本勝地山水奇観 全部四卷

第一卷 山陰乃
 第二卷 山陽乃
 第三卷 南海乃
 第四卷 西海乃
 各四卷は諸地の名景とすなわく
 山海の画とす人の一助なり

全 同 續 篇 全部四卷

第一卷 五畿内
 第二卷 東海乃
 第三卷 東山乃
 第四卷 小陸乃
 各の諸地とす
 今部 凡

橘守國画図
 運筆廣畫 全部三卷

運筆廣畫の象とす月花山水人物
 禽獸 虫 昆虫 木 花 実 木 雲 画 心
 海とす記しとす今部 初 種 子 子 子
 今部 凡

萬物繪本大全 懷中日用重宝 全部二卷

上天象より下万物迄とす其書とす
 各卷の文字とすお色紙や祝いの
 傳とす記しとす画家の勿論法藏通
 各理なりと種々なはりつるなり

是心軒撰
 甲陽生花百瓶圖 全部三卷

奉朝生花の聖徳流の法流陰陽五行の秘実と
 すや式月の礼を主とするの秘法とす
 甲陽生花の秘法とす
 甲陽生花の秘法とす

龜齡軒著 諸國百瓶圖 全部三卷

古流生花の故事要法とてしつらり
法國に於て高名の達人所生花百瓶
と稱する生花稽古のよひとてしつらり

今 排華故実集 全

生花の遺儀三國傳来の故事とてしつらり四十
八柄の式座の方花笠の由米四季水際の花
事よひとてしつらり生花のたよりとてしつらり故実一巻
もとてしつらり詳しとてしつらり

貝原好古著 八幡宮本紀 全部七卷 附録一卷

周史実録より祠官の録とてしつらり故実の
傳とてしつらり近八幡宮とてしつらり
一箇よりとてしつらり法國名とてしつらり儀の
法のよとてしつらり出

絵入り 伊勢物語 全部二卷

伊勢ののろりよとてしつらり画とてしつらり
あつらひとてしつらりおのゝとてしつらり
見やれとてしつらり仕立とてしつらり

竹山居士補闕 源語抄 全部三卷

天地時候人倫交體生極形衣ふく
器械人奉虚洞木の門とてしつらり
とてしつらりはとてしつらり種君の室とてしつらり

百様百人一首 烏石山人書 全一卷

百様の百人一首の和歌とてしつらり
百様の百人一首の和歌とてしつらり
とてしつらり一助とてしつらり

東武鈴木忠侯著

今川便蒙抄

後入

全一卷

今川了俊子息仲秋（主）氏 判河の系より
了俊の御抄より後入の撰に今川氏より
見書き其の御抄より後入の撰に今川氏より
今川家の系図の画とて更なる詳なるは

女今川

婦女教訓躰方

全一卷

今川氏の判河より後入の撰に今川氏より
の撰に後入の撰に今川氏より
慈悲の心より後入の撰に今川氏より
女子はわが家より後入の撰に今川氏より

女今川玉文庫

後入女教訓 大本全部一卷

右の女今川玉文庫の教訓とて入書を
なすとて又裁縫続紡織裁わしきこと
のつらばりにつらばりの本の事近日用を
とらばりきりてはまことつらばり

田中友水子編

女今川千年鶴

後入

大本全部一卷

女今川は御文庫より後入の撰に今川氏より
御抄の間の放りて婚礼式五節句のつけは
似たるを今川氏の御抄に今川氏より

女童子往來

後入 全一卷

百人一首を御抄に御抄より後入の撰に今川氏より
御抄の間の放りて婚礼式五節句のつけは
七夕の御抄に御抄より後入の撰に今川氏より

女書札調宝記

後入

全部一卷

御抄より後入の撰に今川氏より
御抄の間の放りて婚礼式五節句のつけは
御抄より後入の撰に今川氏より
御抄より後入の撰に今川氏より

南紀山名文成撰

農家訓 全部二卷

四身五常のたよとせむ
堪忍の友孝行

玄傳の従上ト通情の毎近くはく平つれんて
通しやすくはく民家の小幸勅吾のたよ
子孫まう一生の換登とせむも志願をせしむ

近路行者著

結入よみ本

古今英草紙

全部五冊

奇談 後醍醐帝は友房孫奏のよとははむ高の師直と
婢女と出て嫁とせむの活とせむるこよ九冊の
奇き活とせむるこよとて画とせむるこよとて
こよ一見女子おやせむるこよとて安うこよと

全著

同繁野話

全部六卷

雲魂 雲魂と告て太平と誓ふ活とせむるこよ
宇都宮遊 宇都宮と遊つて故と平らるる活とせむる
こよ九冊の奇き活とせむるこよとて画とせむる
こよとて安うこよと

近路行者著

結入よみ本

古今茶秀句冊

全部五卷

奇談 八百比丘尼人笑と故せむるこよとて巻は活とせむる
白父の翁里とせむるこよとて大子とて活とせむるこよと
九冊の奇き活とせむるこよとて英妙とて活とせむる
こよとて此三冊ともやらびるこよとておりのたよと

磨光韻鏡

本圖 韻鏡素隱 翻切門法 二冊

全 後篇

伐柯篇 指要録 二冊

全 三後篇

本圖 字庫 三冊

全 大全

本圖 韻鏡素隱 翻切門法 指要録 伐柯篇 字庫 五冊

全 餘篇

三册

全 經緯

一册

韻鏡數十有トイ下モ磨光韻鏡ヨリヨキハ
ナレ此登ハスナ字ナ光韻鏡ヲ学フ捷法之ソノ
教導スル所簡略ニ而其要領ヲ奉クナ光韻
鏡ニ内レ此登中三二十五條ニ述ル所ヲ照サハ誠ニ
光ル韻鏡学者トモ成ベシ又附スル字彙卷末直
横圖ノ反切ハ即韻鏡ト配合スル所以ヲ明察ニ
サシ示セリ是モ亦捷法便利ナリ

韻學發蒙

一册

九弄辨

一册

三音正論

二册

卷懷韻鏡

一册

